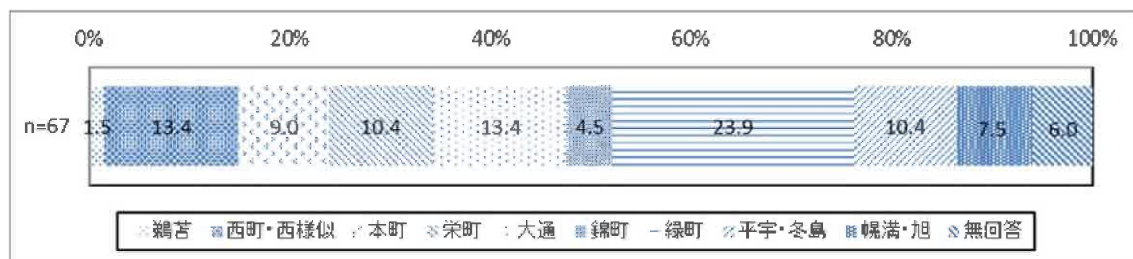


第3期
様似町子ども・子育て支援事業計画
(就学前児童調査)

お住まいの地域について

問1 お住まいの地域はどこですか。

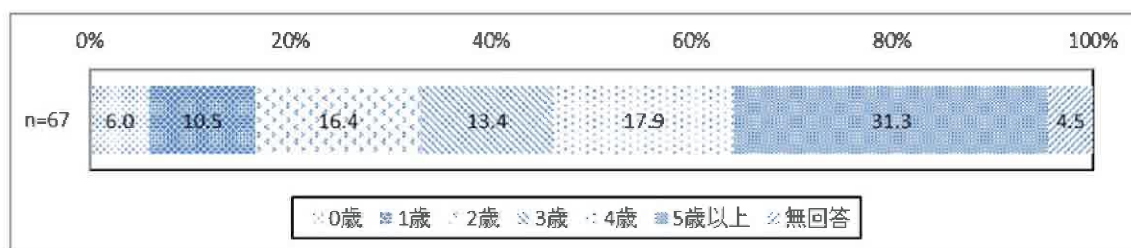
「緑町」が23.9%で最も多く、次いで「大通」・「西町・西様似」13.4%、「栄町」・「平宇・冬島」10.4%の順となっています。なお、前回調査では「緑町」が26.6%で最も多く、次いで「大通り」17.7%、「西町・西様似」13.9%でした。



封筒の宛名のお子さんご家族の状況について

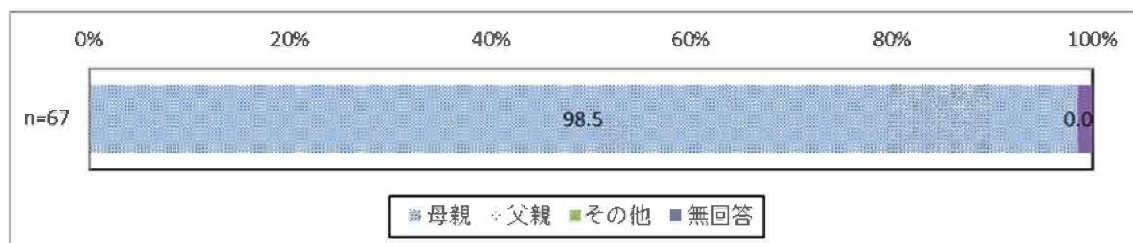
問2 宛名のお子さんの年齢

「5歳以上」が31.3%で最も多く、次いで「4歳」17.9%、「2歳」16.4%の順となっています。これは、2人以上子どものいる世帯について上の子どもを調査対象として抽出したことによる偏りと考えられます。



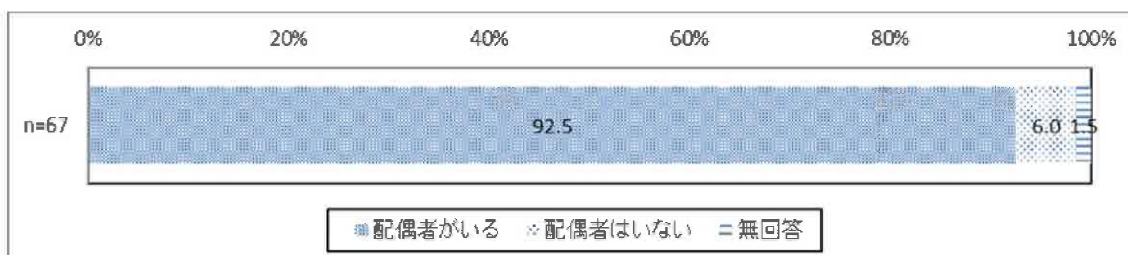
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。

「母親」が98.5%、「無回答」が1.5%となっており、全てが母親からの回答となっています。



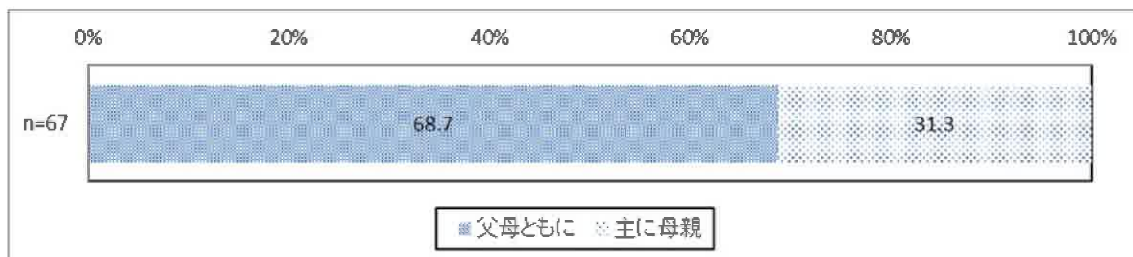
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。

「配偶者がいる」が92.5%、「配偶者がいない」が6.0%となっています。なお、前回調査では「配偶者がいる」が87.3%、「配偶者がいない」が8.9%でした。



問5 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください。

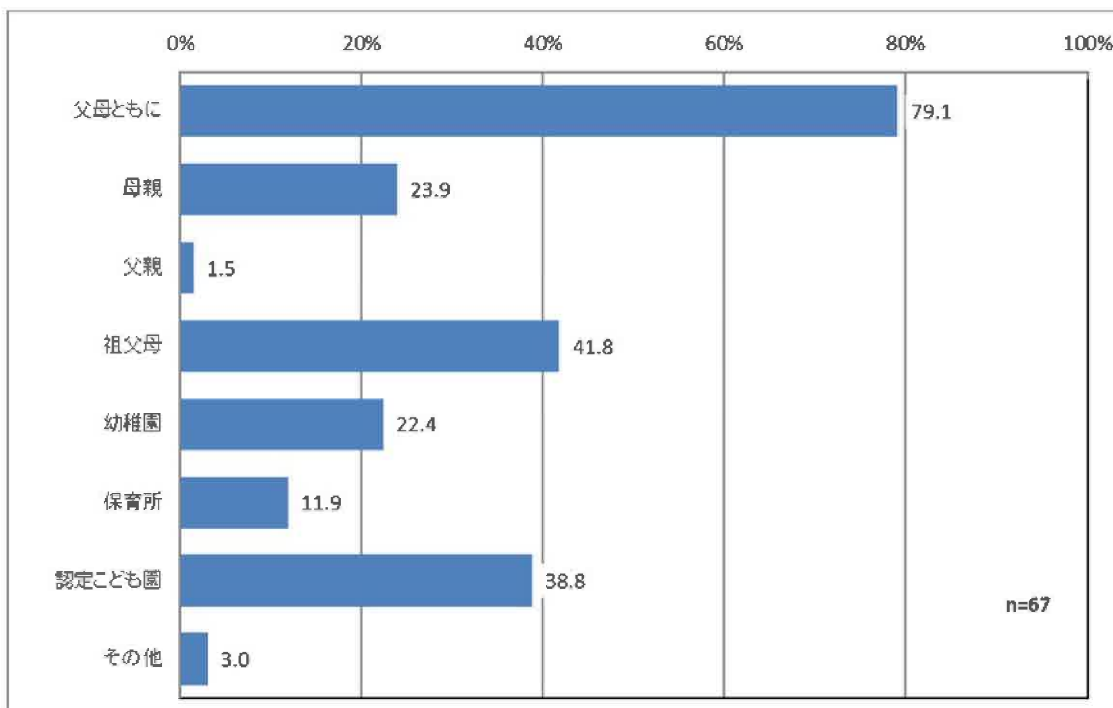
「父母ともに」が68.7%で最も多く、次いで「主に母親」31.3%となっています。なお、前回調査では「父母ともに」が57.0%で最も多く、次いで「主に母親」41.8%、「主に父親」1.2%でした。



子どもの育ちをめぐる環境について

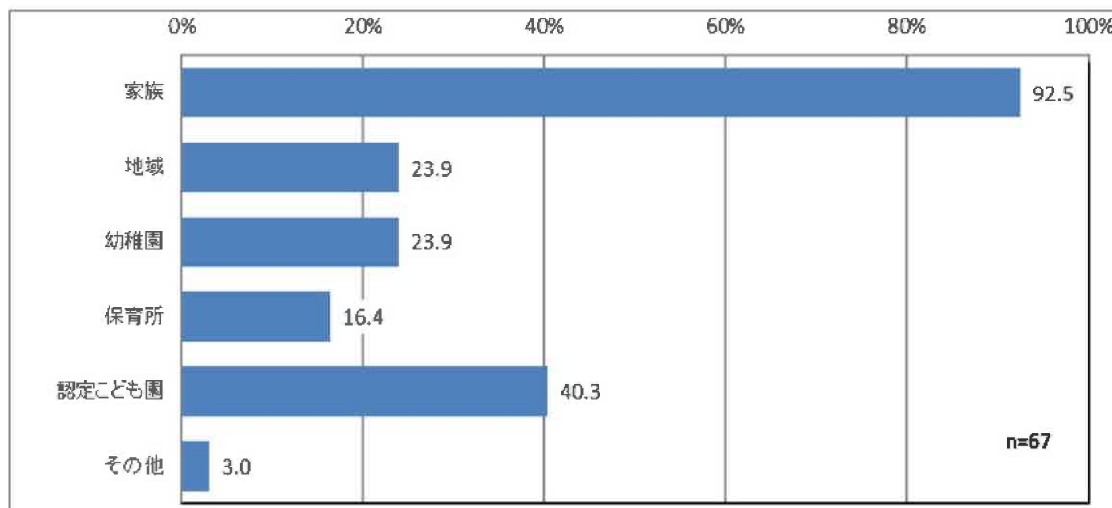
問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんから見た関係でお答えください。(複数回答)

「父母ともに」が79.1%で最も多く、次いで「祖父母」41.8%、「認定こども園」38.8%の順となっています。前回調査では「父母ともに」が68.4%、次いで「祖父母」43.0%、「認定こども園」29.1%の順になっていました。なお、「その他」については、療育施設となっています。



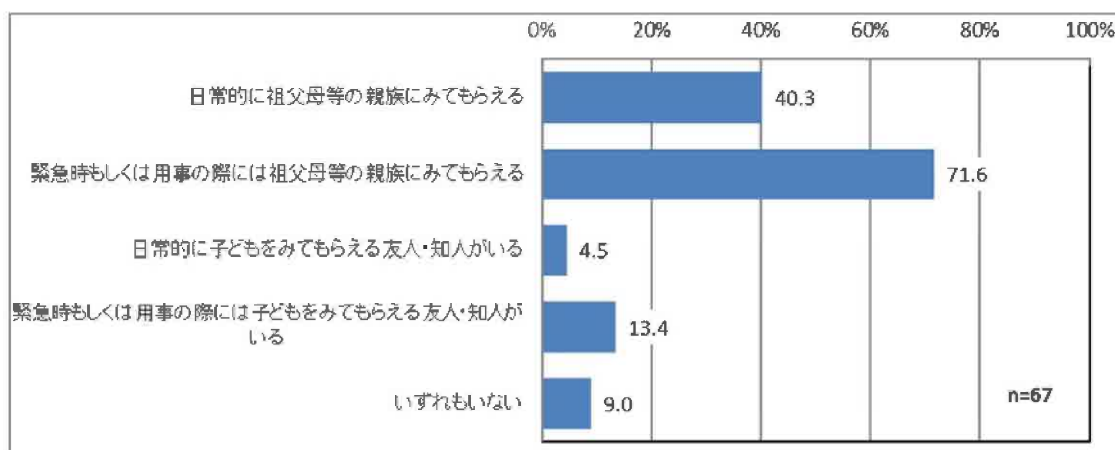
問7 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に、もっとも影響すると思われる環境はどれですか。(複数回答)

「家族」が92.5%で最も多く、次いで「認定こども園」40.3%、「地域」・「幼稚園」23.9%の順となっています。なお、前回調査では「家族」が96.2%で最も多く、次いで「認定こども園」34.2%、「幼稚園」29.1%の順でした。



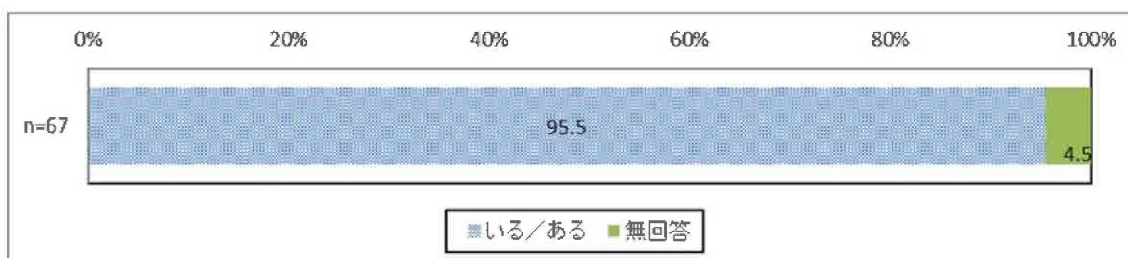
問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(複数回答)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が71.6%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」40.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」13.4%の順となっています。前回は「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が59.5%で最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」45.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」16.5%の順でした。



問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

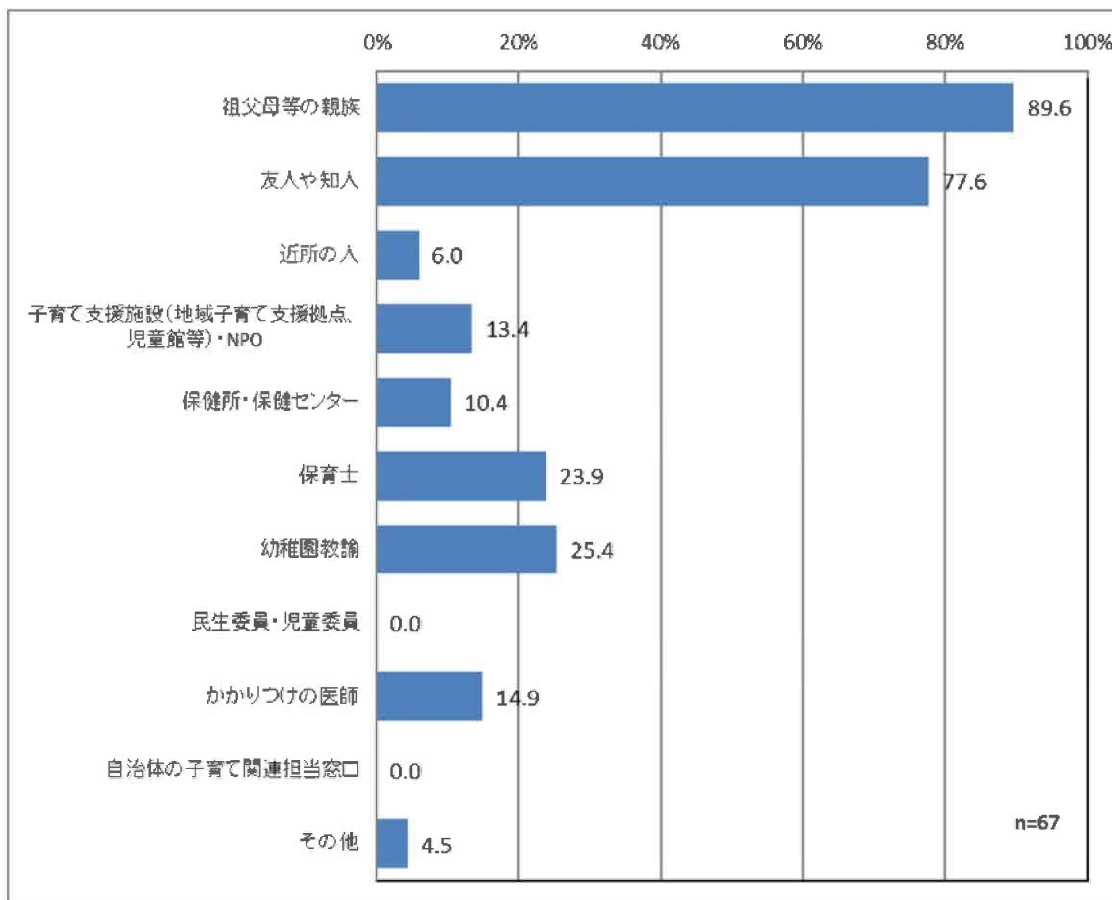
「いる／ある」が95.5%で残りが無回答となっています。前回調査では、「いる／ある」が98.7%、「いない／ない」が1.3%でした。



問9で「1. いる／ある」と回答した方におうかがいします。

問9-1 お子さんの子育て(教育を含む)に関して、気軽に相談できる先は、誰(どこ)ですか。(複数回答)

「祖父母等の親族」が89.6%で最も多く、次いで「友人や知人」77.6%、「幼稚園教諭」25.4%の順となっています。前回調査では、「祖父母等の親族」が89.9%で最も多く、次いで「友人や知人」74.7%、「幼稚園教諭」29.1%の順でした。なお、「その他」の内訳は、療育の先生・児童支援施設となっています。

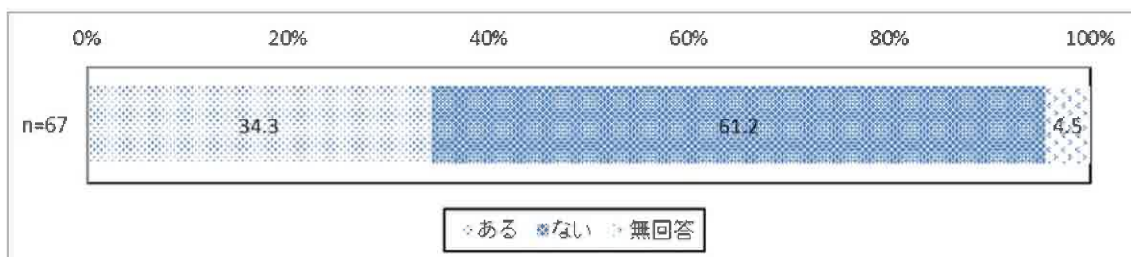


問10 子育て(教育を含む)をする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

- ・気軽に子どもを預ける所があれば助かります。(2～3時間程度でもOK)
- ・地域の人との交流。金銭支援。
- ・子どもがいる世帯への金銭的サポート
- ・短時間預かってもらえる。親が教えられないことを教えてくれる。
- ・ファミリーサポートの充実(あるとは聞いたことはありますが、実態がよくわからない)
- ・子どもが体調を崩して休んだ時の収入のサポートがあればうれしいです。
- ・①産後ケア施設(ホテル)の助成金 ②新生児一時預かり(数時間でも)など体を休めることが出来れば心も休まってよいと思った。
- ・病児保育制度
- ・病児保育制度があればもっと働きやすくなると思う。シフト制不規則勤務の場所だと半日でも見てもらえる場所があると助かる。お正月休みも一般会社と同じく保育始めがあると助かる。
- ・気軽に相談や急用でも預けられるようなもの
- ・気軽に参加できるイベントや児童センター、おむつ券
- ・当日の連絡でも一時保育などの受入が出来たら助かる。
- ・定期的に声をかけてもらえるとうれしい。
- ・今になって様々なサポートが受けられることが理解できるが、生後1～2年の間は伝わってこない。(理解できない)様似町に住む(成長に不安を持つ)他の人はどのようなサポートを受けているのか、具体的な紹介があっても良いと思う。
- ・子どもが遊べるような室内遊具施設や公園が出来れば、子や親同士の交流が増え子どものことを話せる環境ができると思う。
- ・ベビーシッターのようなサービス。食事の提供があるとよい。
- ・急な預かりに対応してくれるような施設。
- ・親が病気や幼児があるときに気軽に預けられる施設があると助かる(事前予約なしで)

問11 お子さんの成長や発達のこと、病院や専門機関に相談したことはありますか。

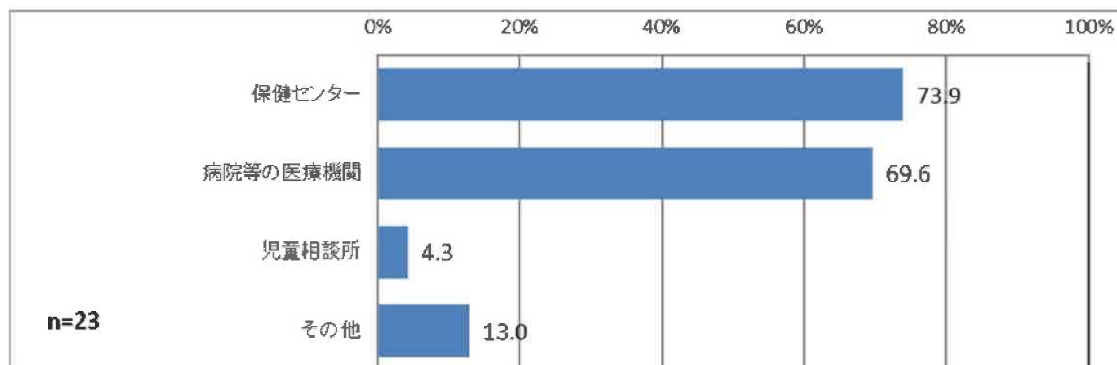
「ある」が34.3%、「ない」が61.2%となっています。前回調査では「ある」が25.3%、「ない」が72.2%となっています。



問11で「1. ある」と回答した方におうかがいします。

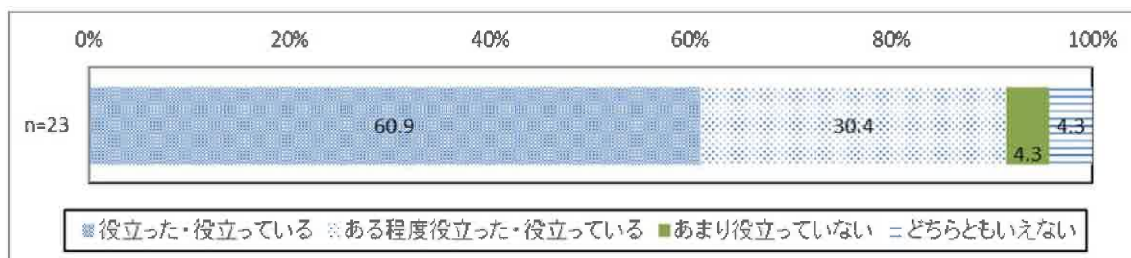
問11-1 どの機関に相談しましたか。(複数回答)

「保健センター」が73.9%で最も多く、次いで「病院等の医療機関」69.6%、「その他」13.0%の順となっています。なお、「その他」の内訳は、幼児センター、療育事業所、児童支援施設となっています。



問11-2 相談した結果、指導内容やアドバイスはいかがでしたか。

「役立った・役立っている」が60.9%で最も多く、次いで「ある程度役立った・役立っている」30.4%の順となっています。

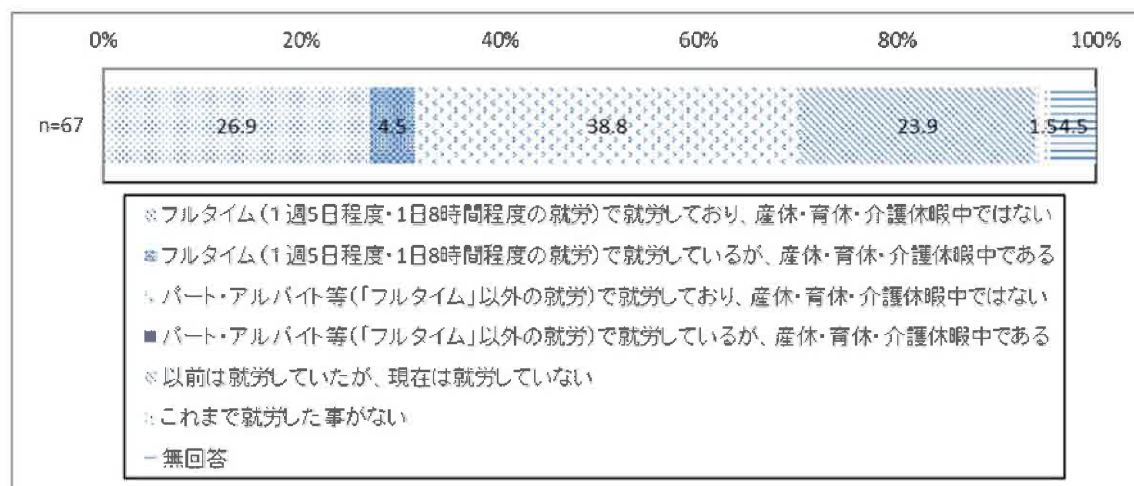


保護者の就労状況について

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

問12-1 母親についてお答えください。【父子家庭の場合は記入不要です】

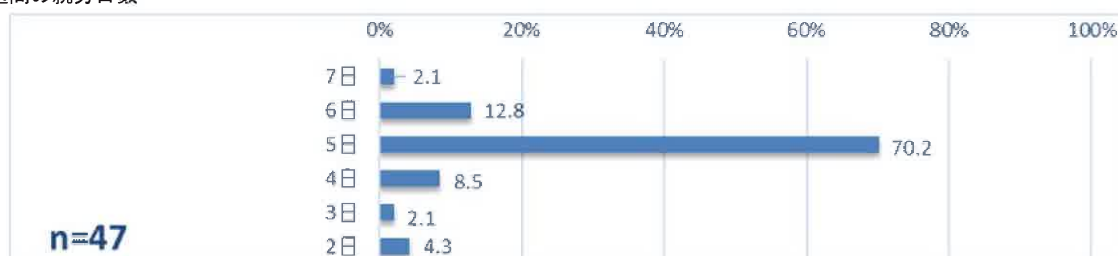
「パートタイム等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」が38.8%で最も多く、次いで、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」26.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」23.9%の順となっています。前回調査では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が32.9%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)で就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」26.6%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、産休・育休・介護休暇中ではない」24.1%の順でした。



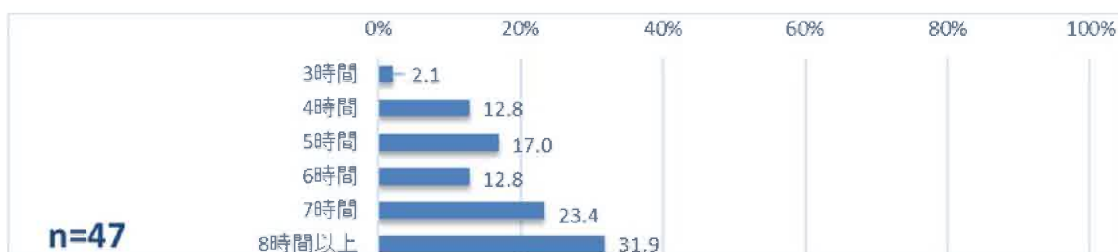
問12-1で「1～4」(就労している)と回答した方におうかがいします。

問12-2 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。

※ 1週間の就労日数



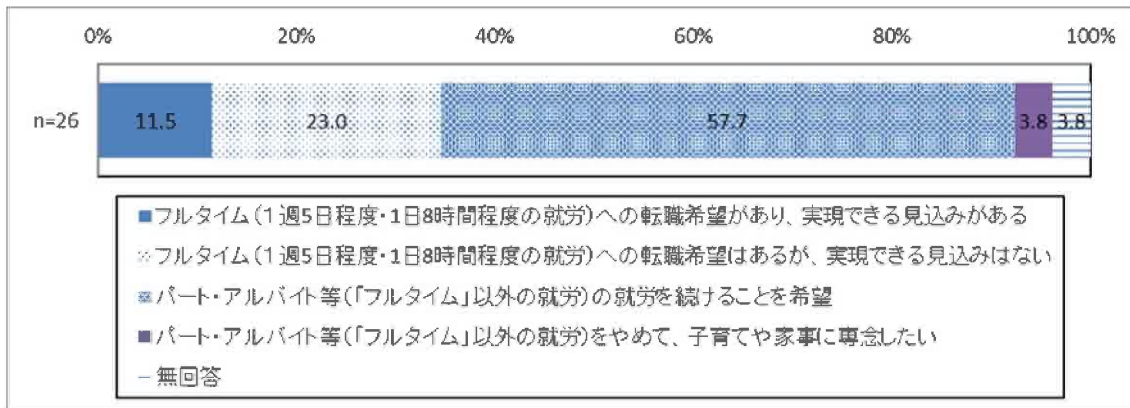
※ 1日の就労時間



問12-1で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方におうかがいします。

問12-4 母親へお尋ねします。フルタイムへの転職希望はありますか。

「パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)の就労を続けることを希望」が57.7%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望はあるが、実現できる見込みはない」が23.0%となっています。前回調査では、「パート・アルバイト等(フルタイム)以外の就労)の就労を続けることを希望」が85.7%、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)への転職希望はあるが、実現できる見込みはない」が9.5%でした。

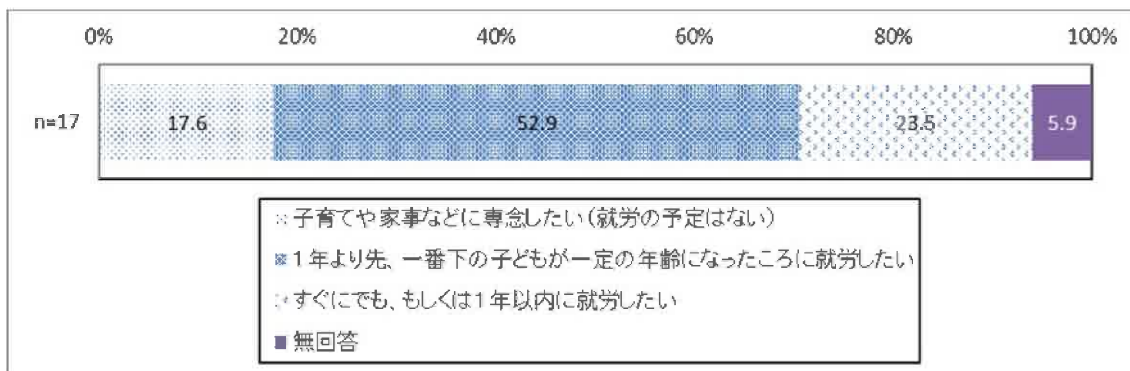


問12-1で「5.」「6.」(就労していない)と回答した方におうかがいします。

問12-5 母親へお尋ねします。就労したいという希望はありますか。

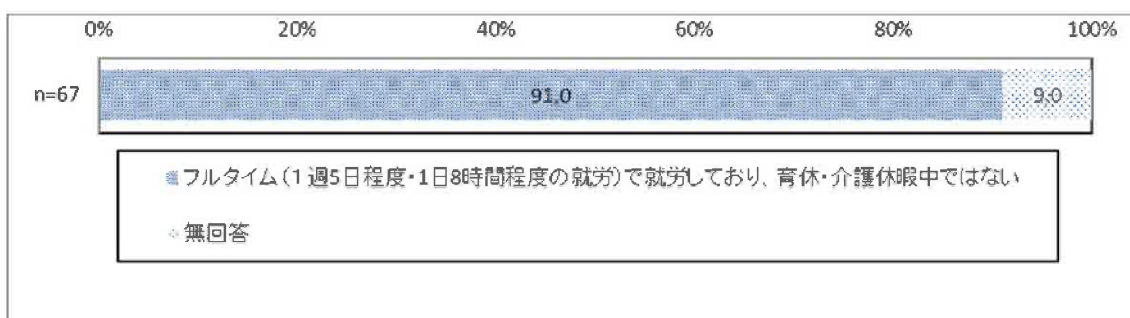
「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったところに就労したい」が52.9%で最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」23.5%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」17.6%の順となっています。前回調査では「1年より先、一番下の子どもが一定の年齢になったところに就労したい」が50.0%で最も多く、次いで「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」17.6%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」21.9%の順でした。

また、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答したかの内訳は、「フルタイム」1名、「パートタイム、アルバイト等」3名でした。



問13-1 父親についてお答えください。【母子家庭の場合は記入不要です】

「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休暇中ではない」が91.1%となっています。前回調査では「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度の就労)で就労しており、育休・介護休暇中ではない」が83.9%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が1.6%でした。



問13-1で「3.」「4.」(パート・アルバイト等で就労している)と回答した方におうかがいします。

問13-4 父親へお尋ねします。フルタイムへの転職希望はありますか。

回答がありませんでした。

問13-1で「5.」「6.」(就労していない)と回答した方におうかがいします。

問13-5 父親へお尋ねします。就労したいという希望はありますか。

回答がありませんでした。

就労したいと回答した方が希望する就労形態

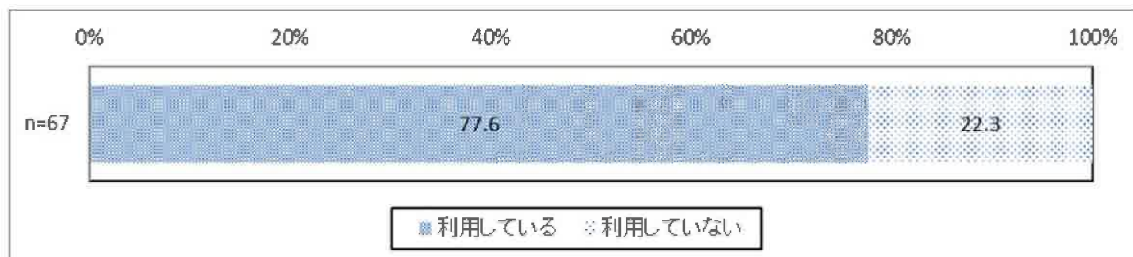
回答がありませんでした。

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問14 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。

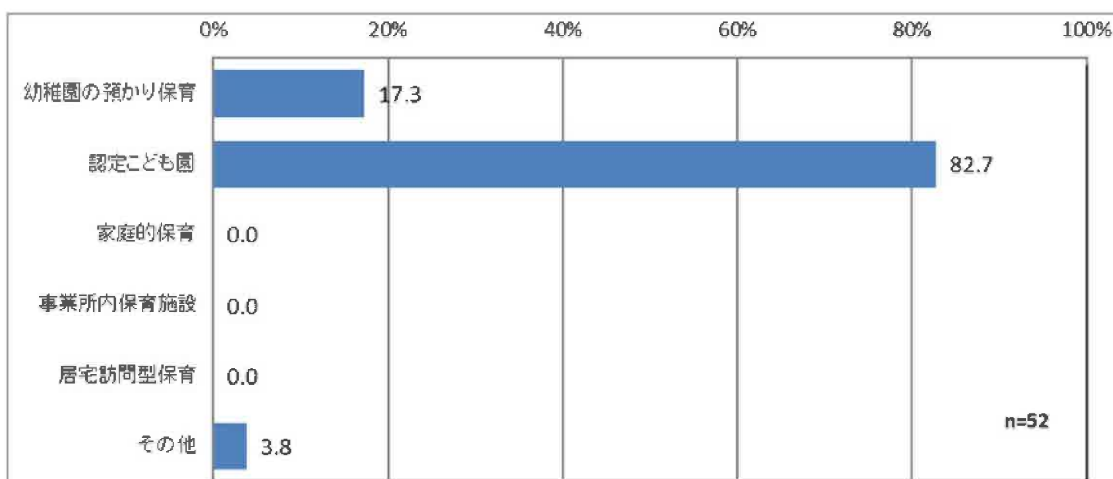
「利用している」が77.6%、「利用していない」が22.3%となっています。前回調査では、「利用している」が69.6%、「利用していない」が29.1%でした。



問14で「1. 利用している」と回答した方におうかがいします。

問15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(複数回答)

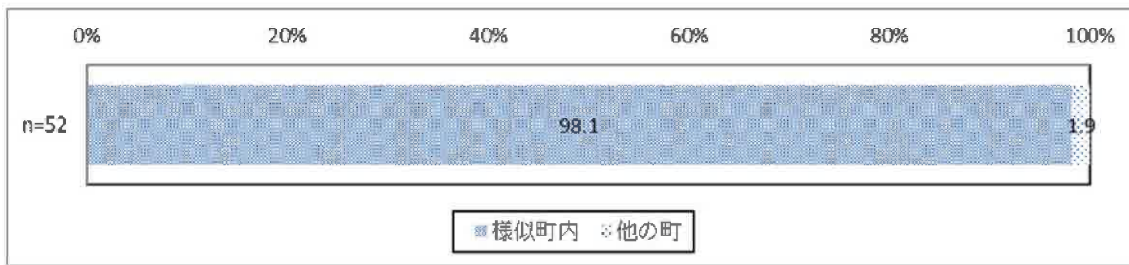
「認定こども園」が82.7%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」17.3%となっています。また、「その他」の内訳は、療育となっています。前回調査では、「認定こども園」が62.0%、「幼稚園の預かり保育」8.9%でした。



問14で「1. 利用している」と回答した方におうかがいします。

問15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所についておうかがいします。

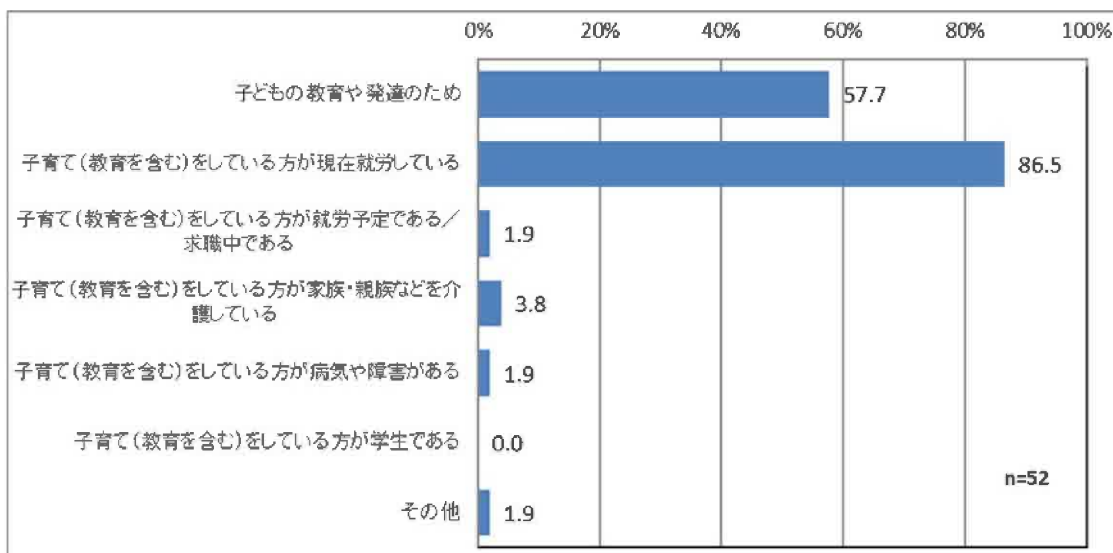
「様似町内」が98.1%、「他の町」が1.9%となっています。前回調査では「様似町内」が97.4%、「他の町」が2.6%でした。



問14で「1. 利用している」と回答した方におうかがいします。

問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている主な理由は何ですか。(複数回答)

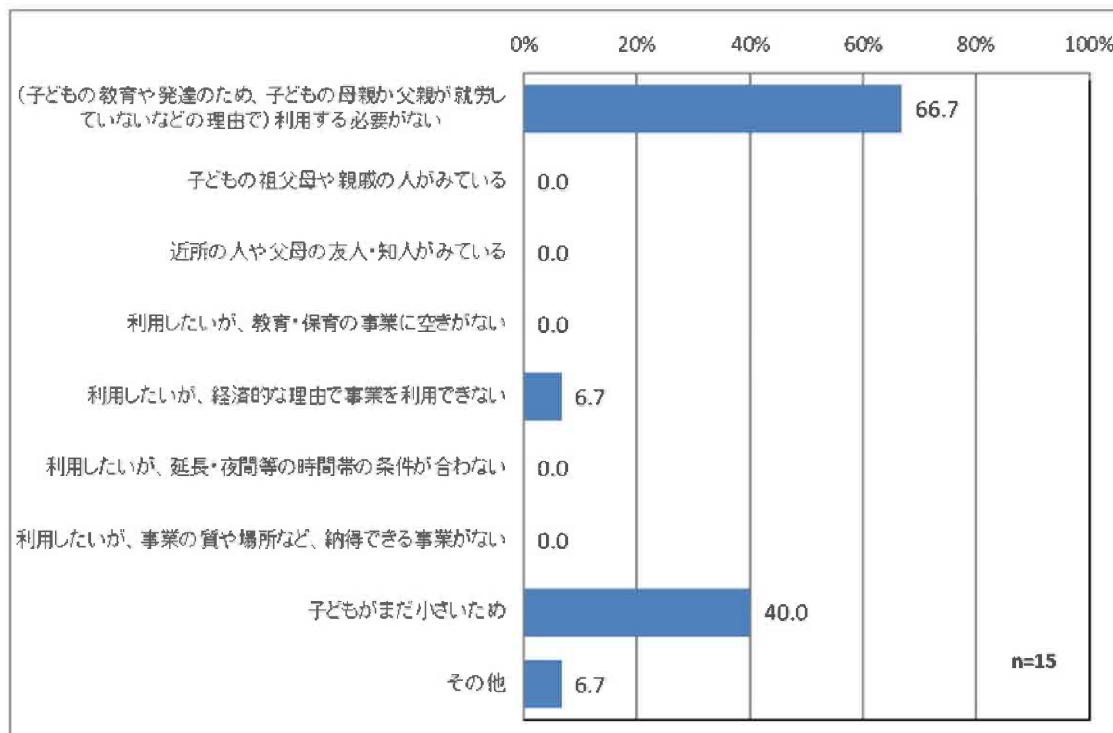
「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」が86.5%、「子どもの教育や発達のため」57.7%でした。前回調査では、「子どもの教育や発達のため」が56.4%で最も多く、「子育て(教育を含む)をしている方が現在就労している」54.5%の順で、前回と逆転しています。



問14で「2. 利用していない」と回答した方におうかがいします。

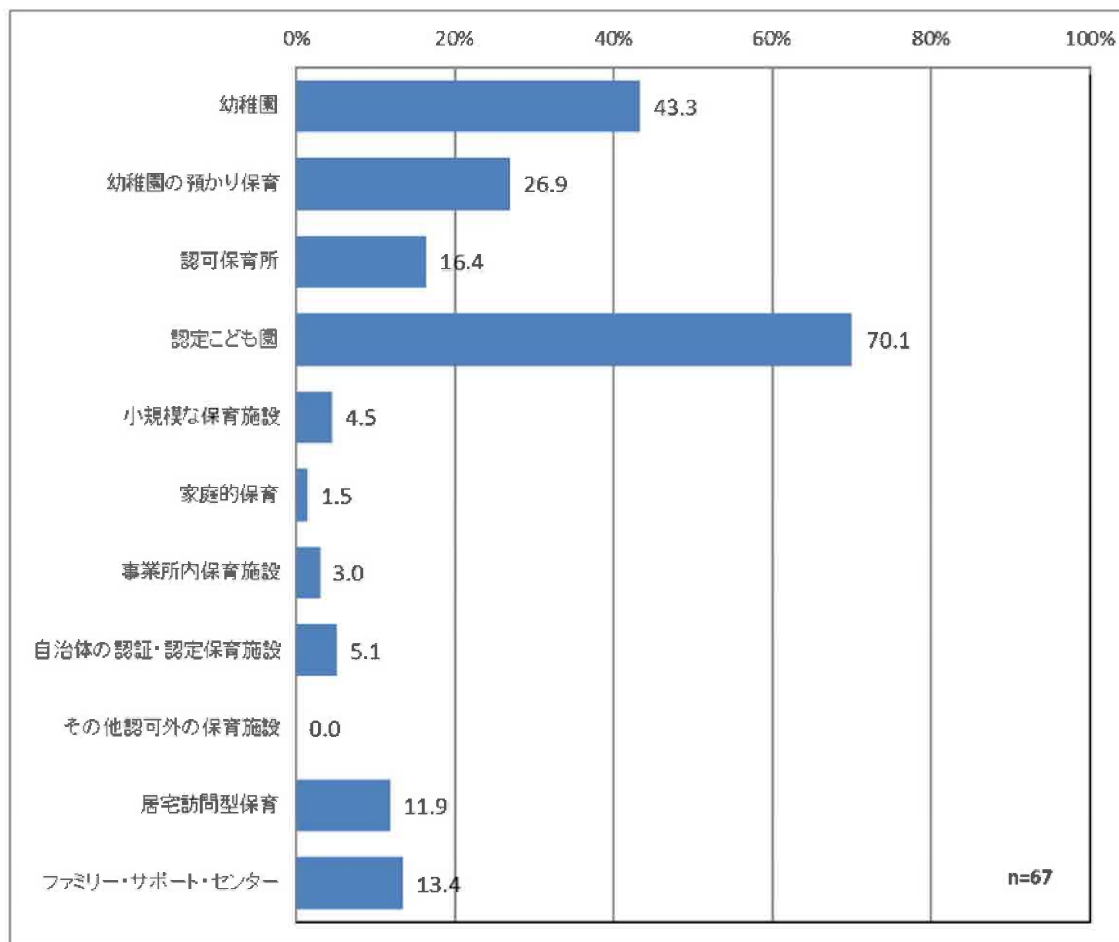
問15-5 利用していない主な理由は何ですか。(複数回答)

「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がある」が66.7%で最も多く、次いで「子どもがまだ小さいため」40.0%、「利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない」6.7%の順となっています。前回調査では、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がある」が65.2%、「子どもがまだ小さいため」47.8%、「こどもの祖父母や親せきの人がみている」8.7%の順でした。「その他」の意見は、「利用したいが、他地域と違いプレ保育がない」というものでした。



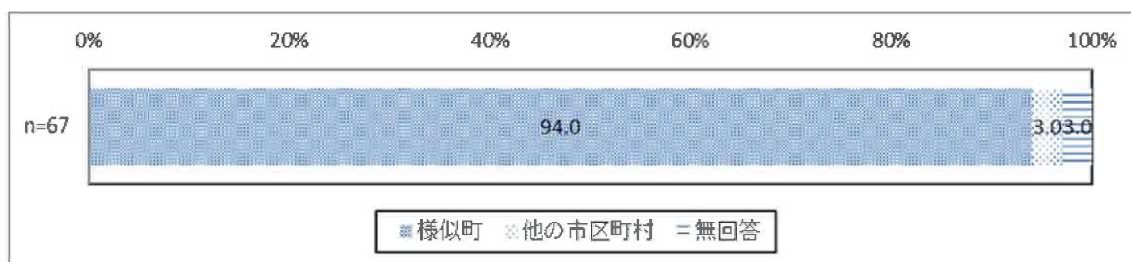
問16 現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(複数回答)

「認定こども園」が70.1%で最も多く、次いで「幼稚園」43.3%、「幼稚園の預かり保育」26.9%の順となっています。前回調査では、「認定こども園」が62.0%、「幼稚園」50.6%、「幼稚園の預かり保育」29.1%の順でした。



問16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。

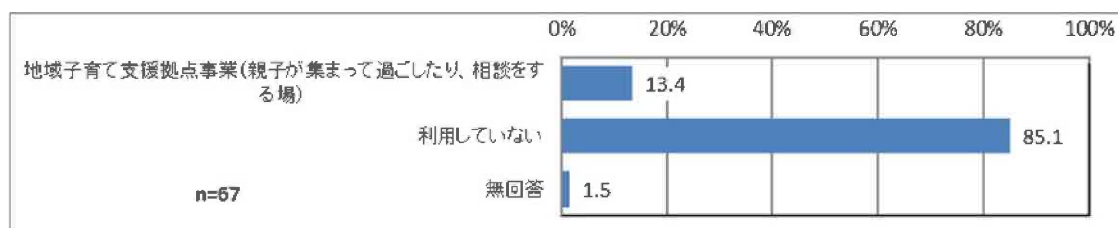
「様似町」が94.0%、「他の市区町村」が3.0%となっています。前回調査では、「様似町」が91.1%、「他の市区町村」が5.1%でした。



地域の子育て支援事業の利用状況について

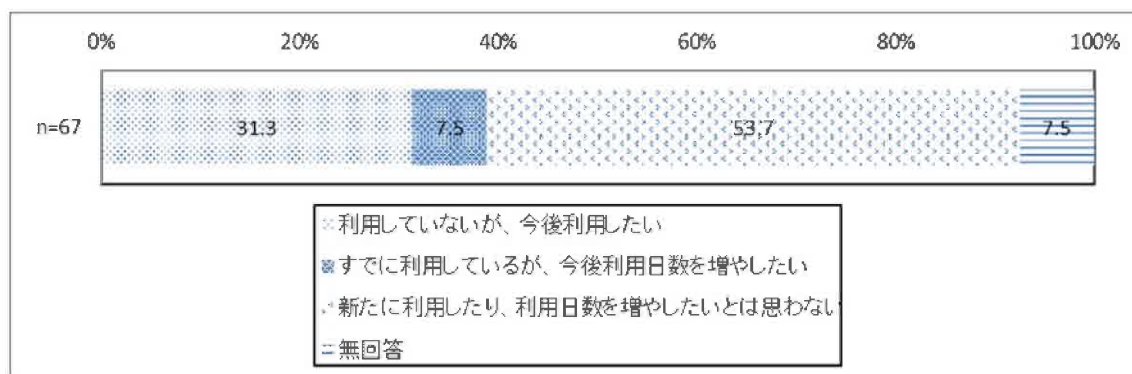
問17 宛名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。利用している事業をお答えください。(複数回答)

「地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)」が13.4%、「利用していない」が85.1%となっています。前回調査では、「地域子育て支援拠点事業(親子が集まって過ごしたり、相談をする場)」が17.7%、「利用していない」が79.8%でした。



問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは利用日数を増やしたいと思いますか。

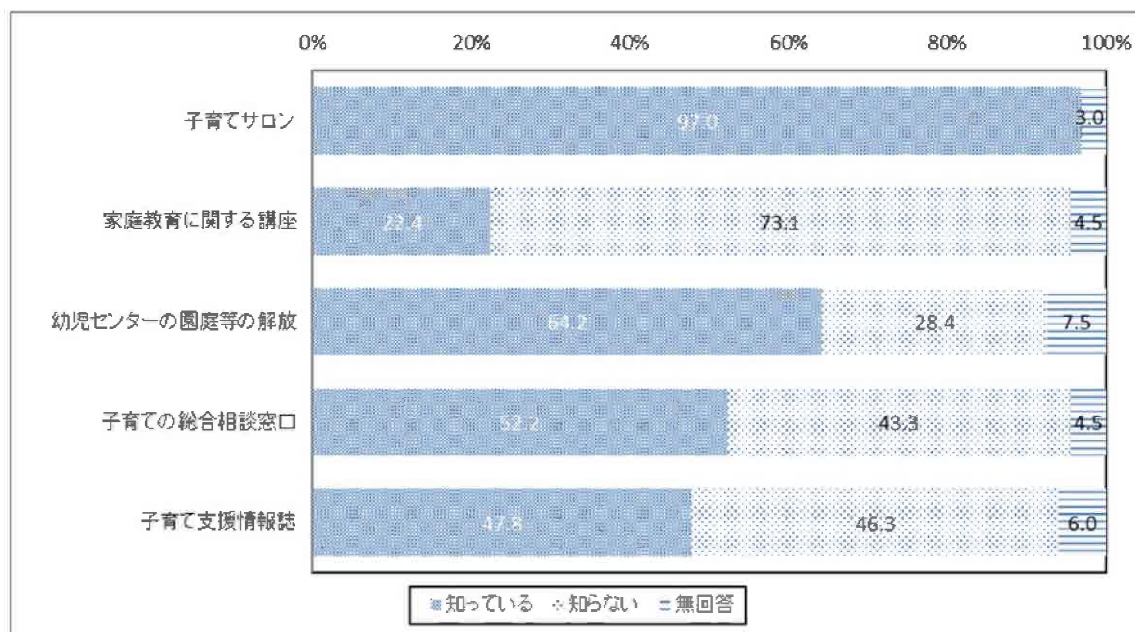
「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が53.7%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」31.3%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」7.5%の順となっています。前回調査では、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が55.7%、「利用していないが、今後利用したい」17.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」12.7%の順でした。



問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用した事があるもの、今後、利用したいと思うものについて、事業ごとにお答えください。

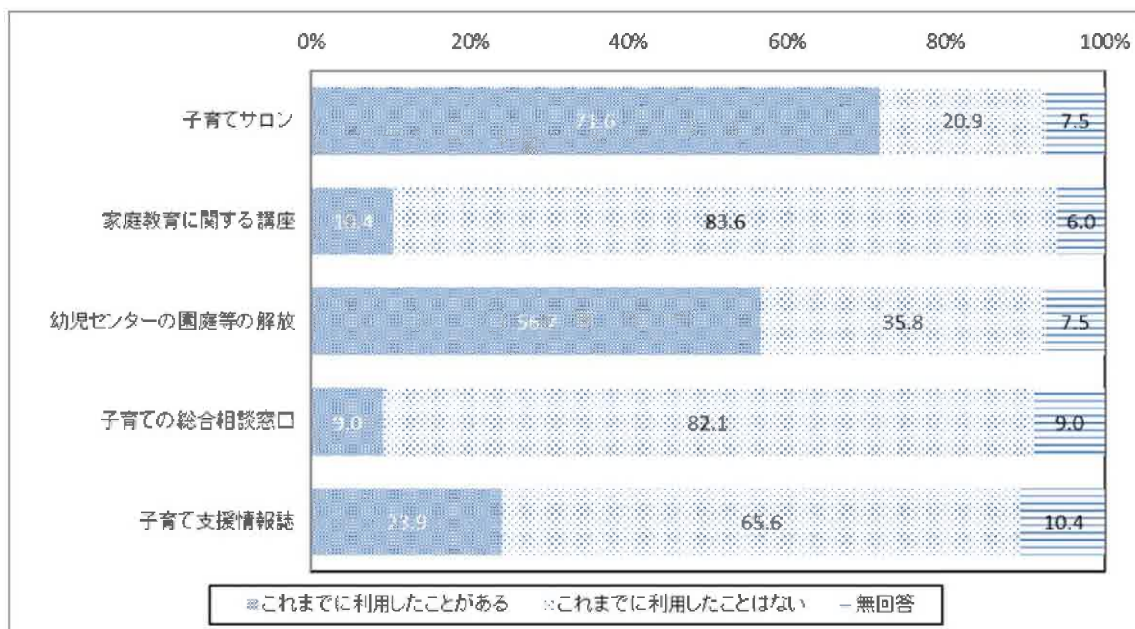
(1)認知状況

「子育てサロン」が97.0%で最も多く、次いで「幼児センターの園庭等の解放」64.2%、「子育ての総合相談窓口」52.2%の順となっています。前回調査では、「子育てサロン」が89.9%、「幼児センターの園庭等の解放」64.6%、「子育ての総合相談窓口」55.7%の順でした。



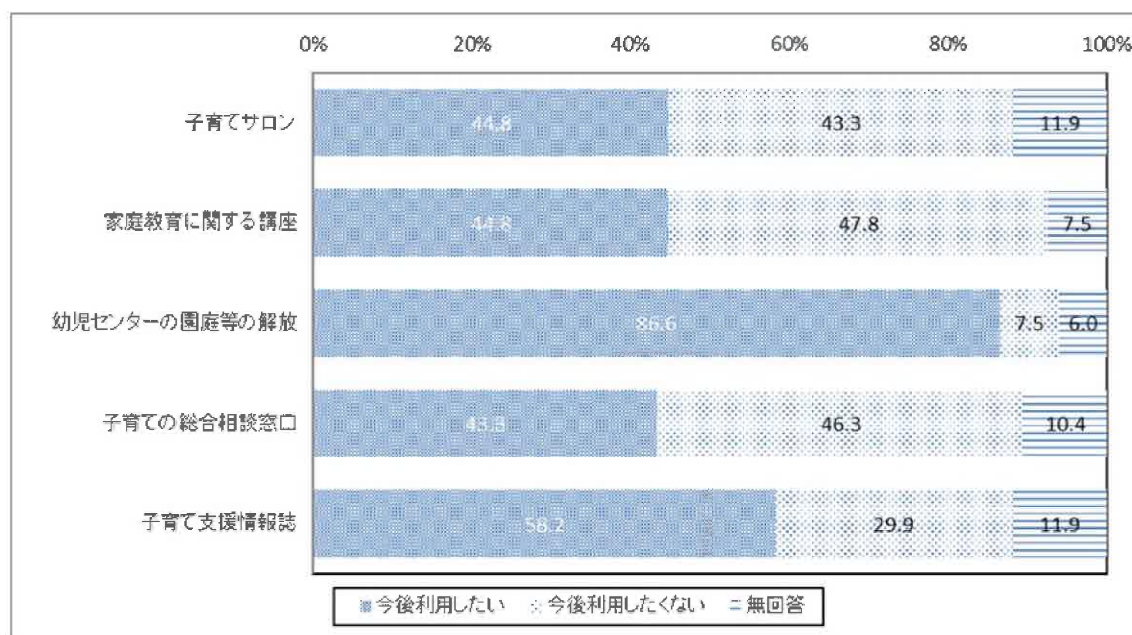
(2)利用状況

「子育てサロン」が71.6%で最も多く、次いで「幼児センターの園庭等の解放」56.7%、「子育て支援情報誌」23.9%の順となっています。前回調査では、「子育てサロン」が72.2%、「保育所や幼稚園の園庭等の解放」46.8%、「子育て支援情報誌」24.1%の順でした。



(3) 利用意向

「幼児センターの園庭等の解放」が86.6%で最も多く、次いで「子育て支援情報誌」58.2%、「子育てサロン」・「家庭教育に関する講座」44.8%の順となっています。前回調査では、「保育所や幼稚園の園庭等の解放」が64.6%、「子育てサロン」51.9%、「子育て支援情報誌」49.4%の順でした。

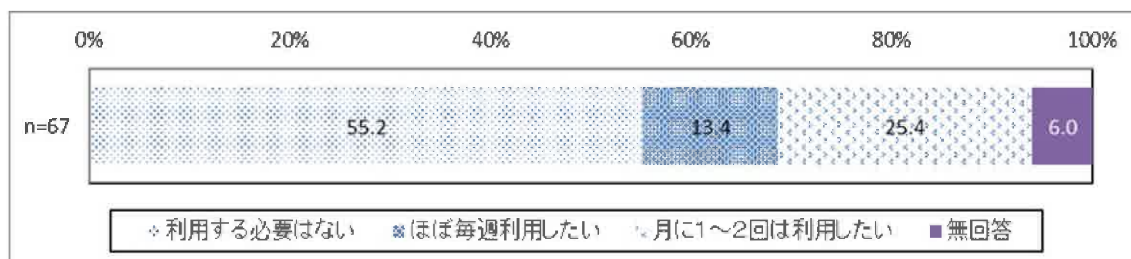


土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。

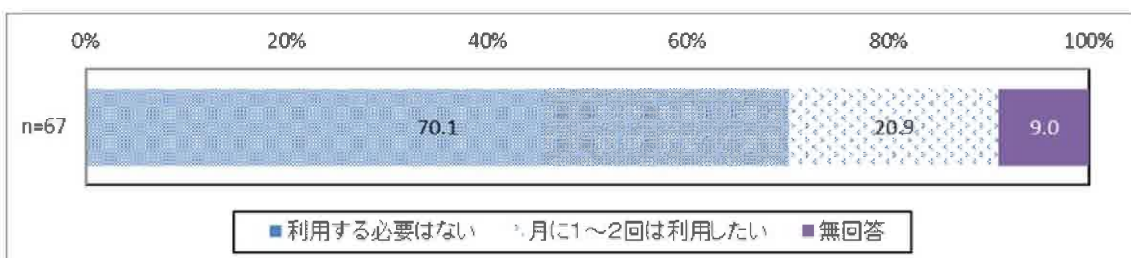
問20-1 土曜日

「利用する必要はない」が55.2%、「月に1～2回は利用したい」が25.4%、「ほぼ毎週利用したい」13.4%の順となっています。前回調査では、「利用する必要はない」が57.0%、「月に1～2回は利用したい」が27.7%、「ほぼ毎週利用したい」15.2%でした。



問20-2 日曜・祝日

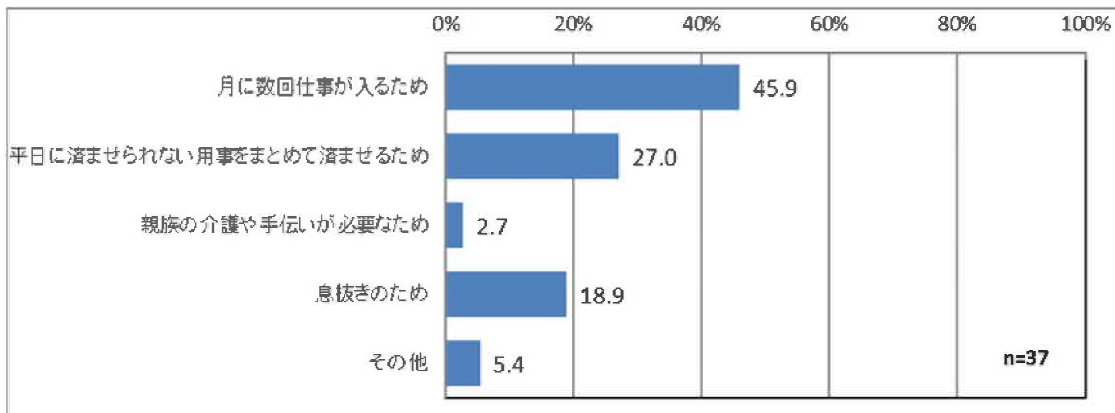
「利用する必要はない」が70.1%で最も多く、次いで「月に1～2回は利用したい」20.9%、「ほぼ毎週利用したい」0.0%の順となっています。前回調査では、「利用する必要はない」が81.0%、「月に1～2回は利用したい」15.2%、「ほぼ毎週利用したい」3.8%でした。



問20-1もしくは問20-2で「3. 月に1～2回は利用したい」と回答した方におうかがいします。

問20-3 毎週ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(複数回答)

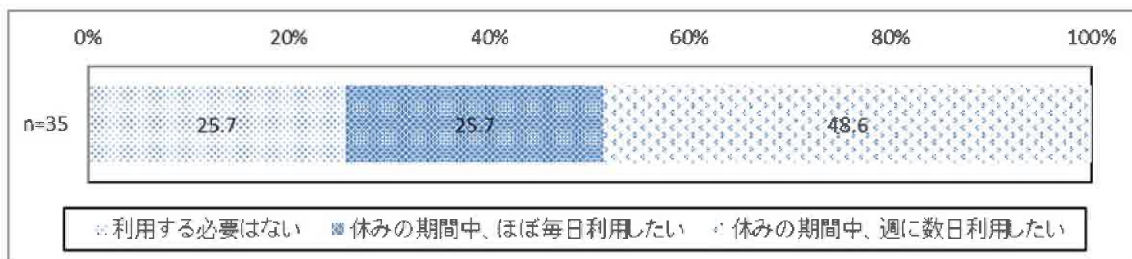
「月に数回仕事が入るため」が45.9%で最も多く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」27.0%、「息抜きのため」18.9%、「その他」5.4%の順となっています。前回調査では、「月に数回仕事が入るため」が47.1%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」23.5%、「息抜きのため」20.6%、「その他」11.8%でした。



幼稚園を利用されている方におうかがいします。

問21 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用を希望しますか。

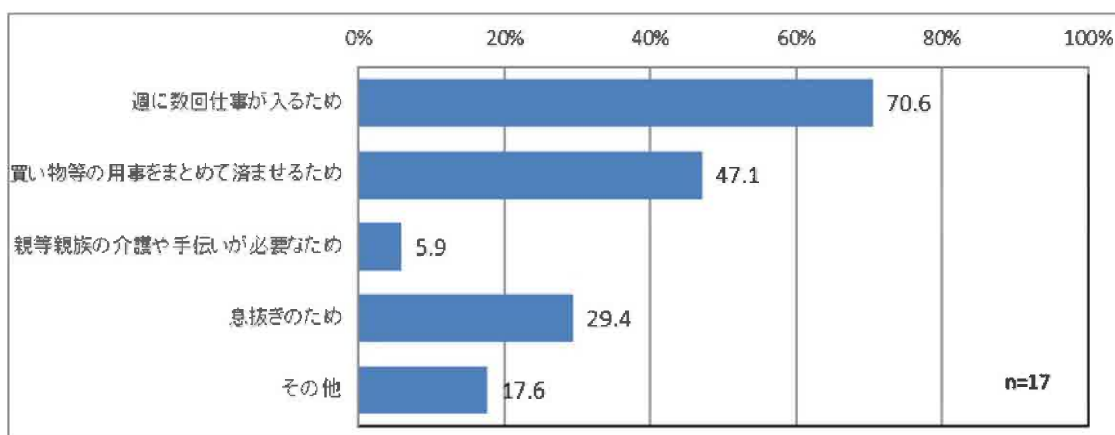
「利用する必要はない」が25.7%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が25.7%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が48.6%となっています。前回調査では、「利用する必要はない」が26.8%、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」48.9%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が29.3%でした。



問21で「3. 休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方におうかがいします。

問21-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由はなんですか。(複数回答)

「週に数回仕事が入るため」が70.6%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が47.1%、「息抜きのため」が29.4%となっています。前回調査では、「週に数回仕事が入るため」が58.3%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」33.3%、「息抜きのため」が33.3%でした。

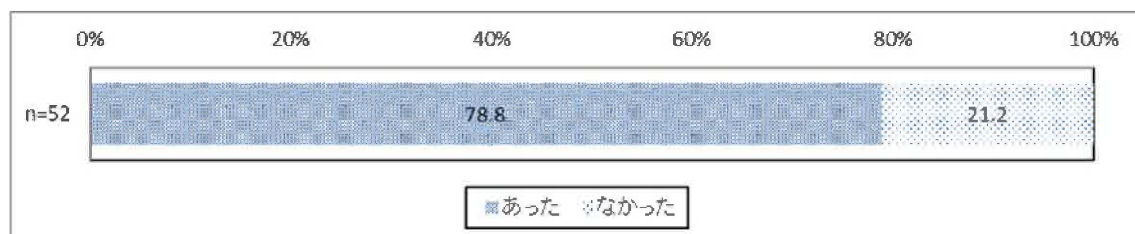


病気の際の対応について(平日の教育・保育を利用する方のみ)

平日の定期的な教育・保育の事業を利用している(問14で「1. 利用している」)と回答した方におうかがいします。

問22 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

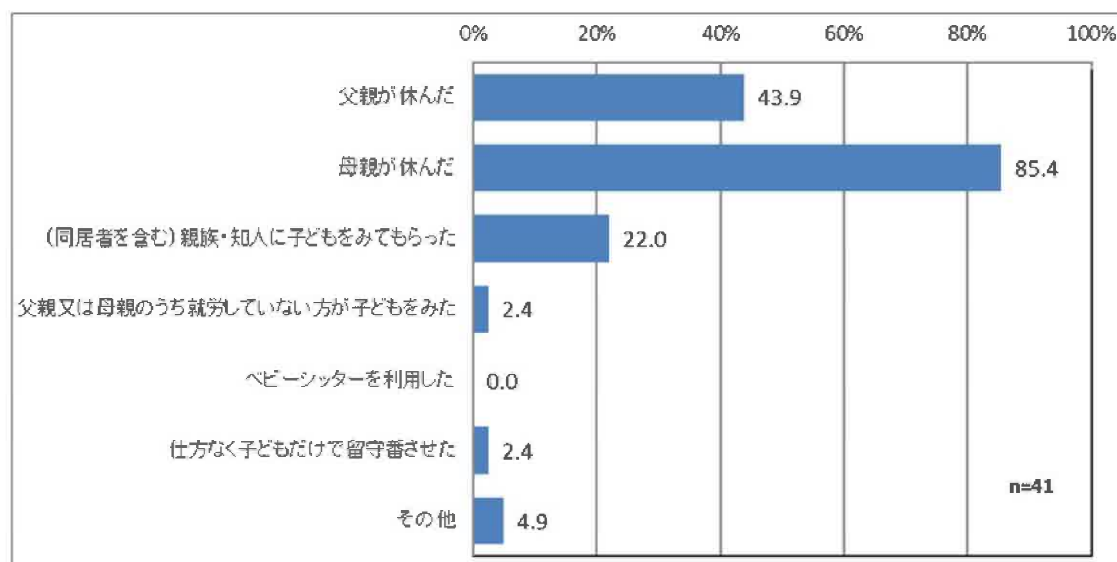
「あった」が78.8%、「なかった」が21.2%となっています。前回調査では、「あった」が61.8%、「なかった」が38.2%でした。



問22で「1. あった」と回答した方におうかがいします。

問22-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法と、その日数をご記入ください。(複数回答)

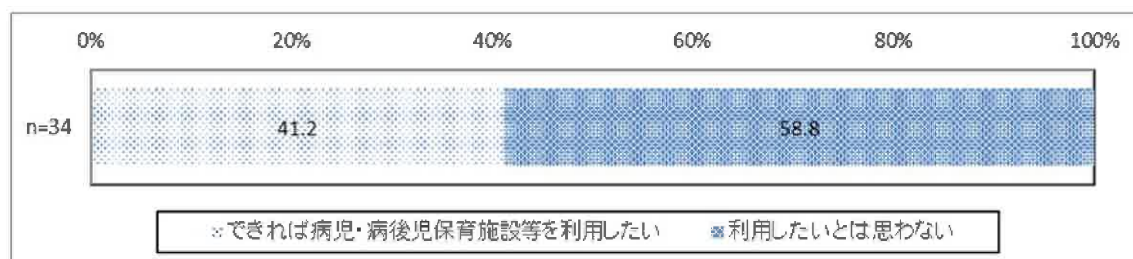
「母親が休んだ」が85.4%で最も多く、次いで「父親が休んだ」43.9%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」22.0%の順となっています。前回調査では、「母親が休んだ」が73.5%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」44.1%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」11.8%の順でした。



問22-1で「ア.」「イ.」のいずれかを回答した方におうかがいします。

問22-2 様似町には、病児・病後児の保育事業はありませんが「病児・病後児のための保育施設があれば利用したい」と思いますか。

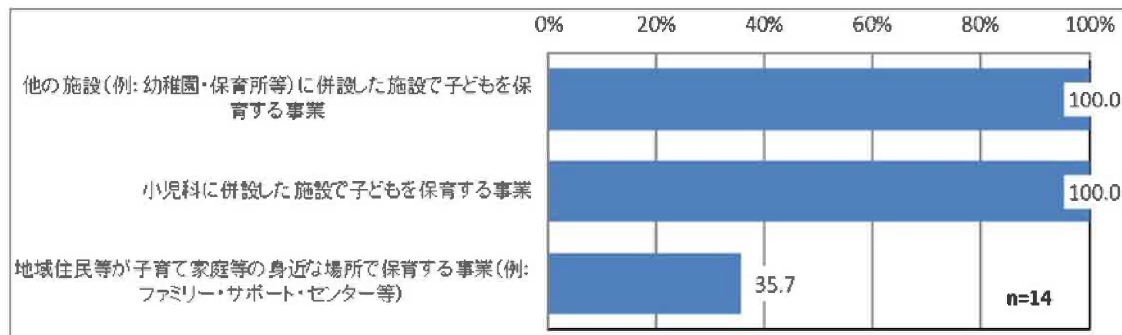
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が41.2%、「利用したいとは思わない」が58.8%となっています。前回調査では、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が55.2%、「利用したいとは思わない」が41.4%でした。



問22-2で「1. できれば病児・病後児保育施設に預けたい」と回答した方におうかがいします。

問22-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(複数回答)

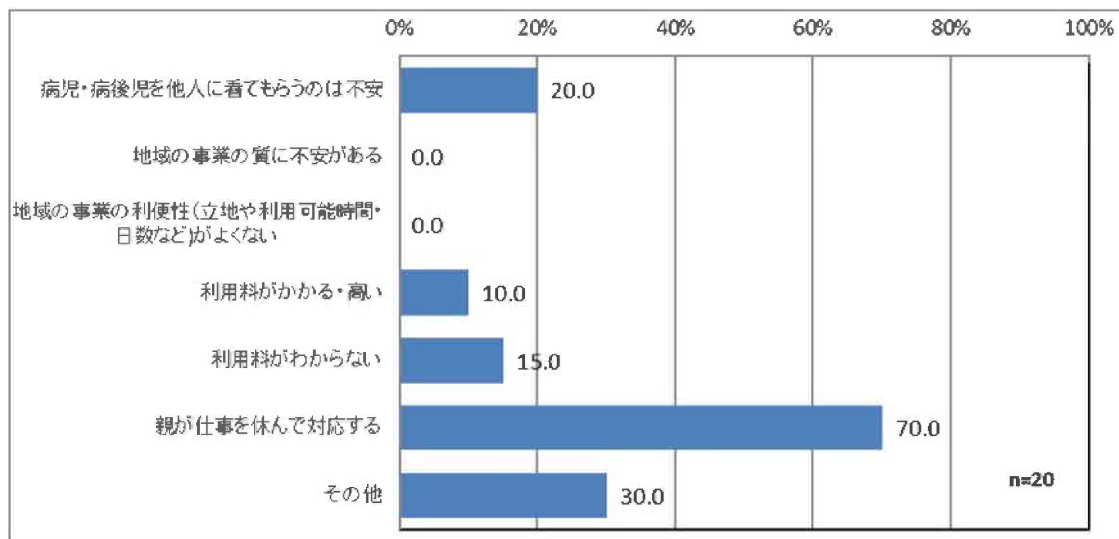
「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が100.0%、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が100.0%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」が35.7%となっています。前回調査では、「他の施設(例:幼稚園・保育所等)に併設した施設で子どもを保育する事業」が75.0%、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が56.3%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」が31.3%でした。



問22-2で「2. 利用したいとは思わない」と回答した方におうかがいします。

問22-4 「利用したいとは思わない」理由はなんですか。(複数回答)

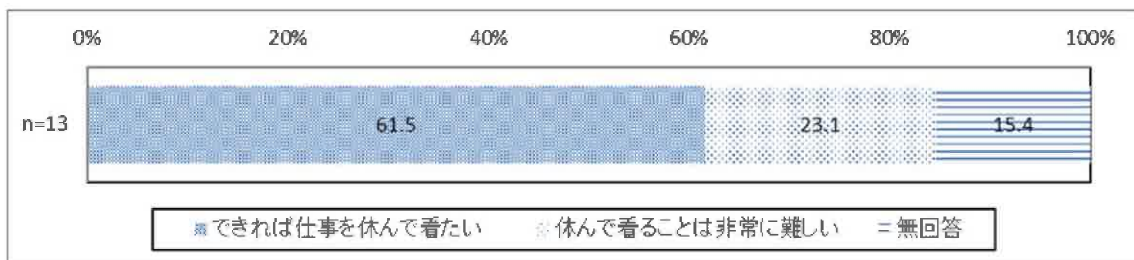
「親が仕事を休んで対応する」が70.0%、「その他」が30.0%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が20.0%となっています。前回調査では、「親が仕事を休んで対応する」が75.0%、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が50.0%、「利用料がかかる・高い」「その他」が16.7%でした。



問22-1で「ウ。」から「キ。」のいずれかを回答した方におうかがいします。

問22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。

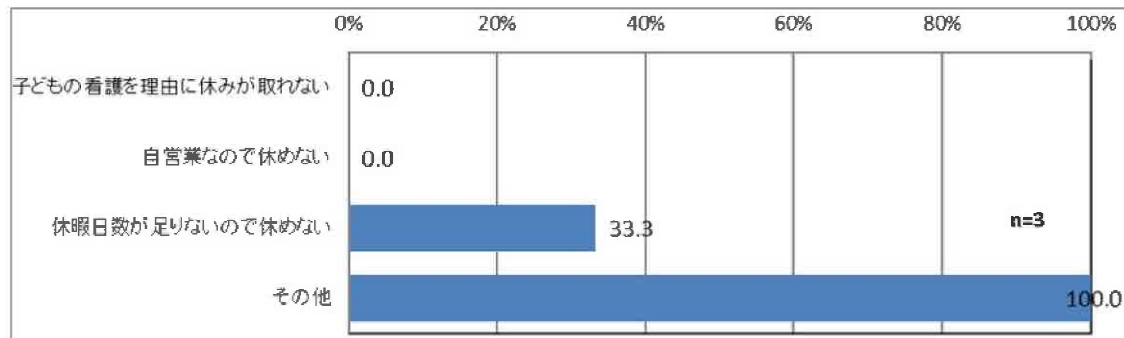
「できれば仕事を休んで看たい」が61.5%、「休んで看することは非常に難しい」が23.1%となっています。前回調査では、「できれば仕事を休んで看たい」が65.0%、「休んで看することは非常に難しい」が15.0%でした。



問22-5で「2. 休んで見ることは非常に難しい」と回答した方におうかがいします。

問22-6 「休んで見ることは非常に難しい」理由は何ですか。(複数回答)

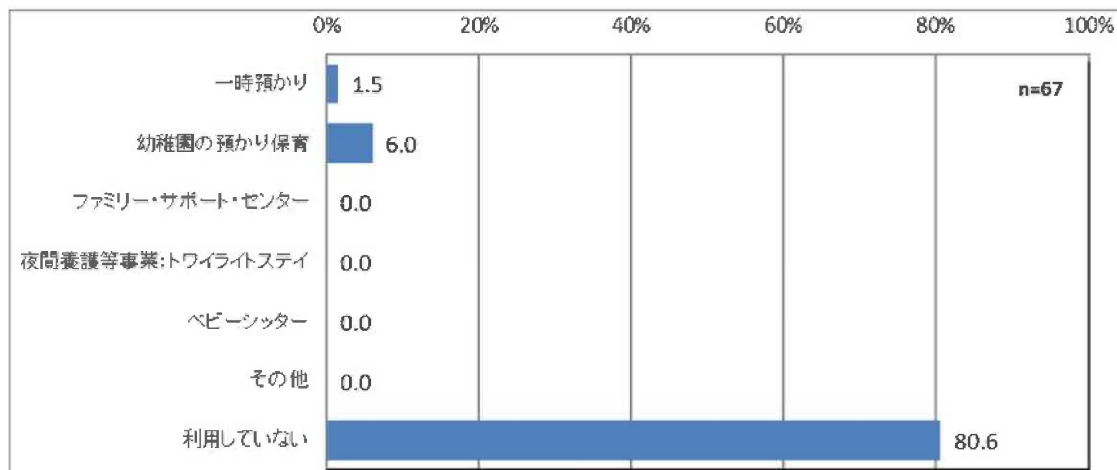
「その他」が100.0%で主な理由は「職場の人手不足」「職場に申し訳ない」などとなっています。前回調査では、「こどもの看護を理由に休みが取れない」「その他」が33.3%でした。



不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期的に利用している事業はありますか。(複数回答)

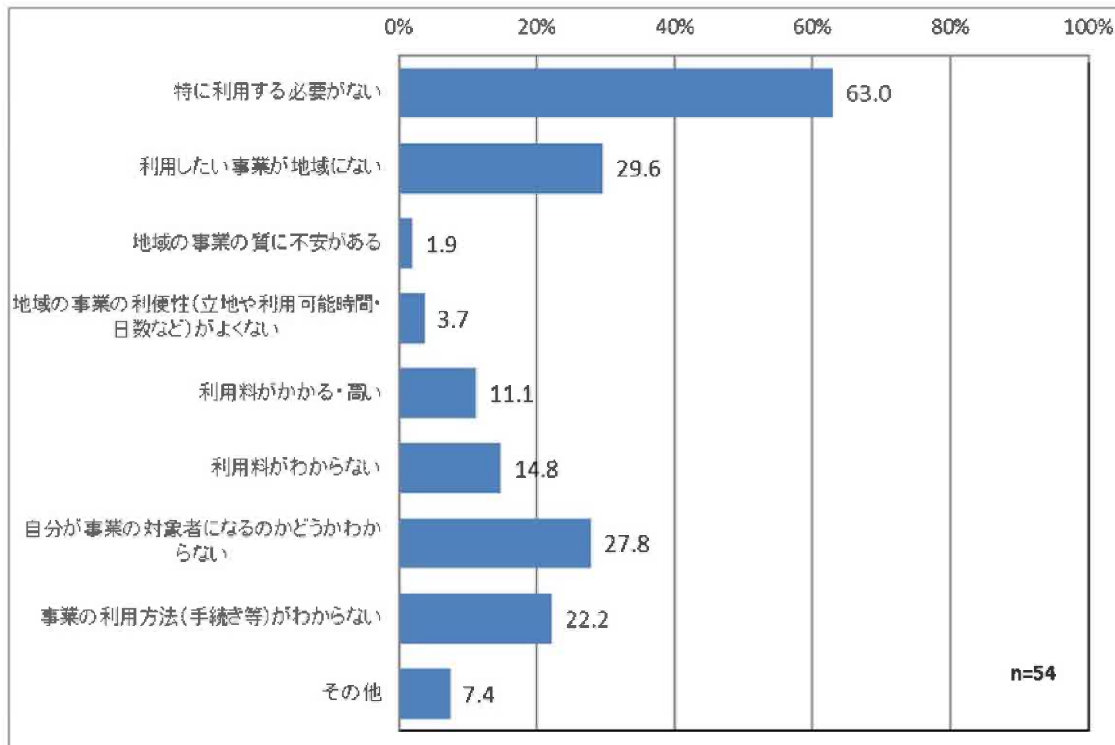
「利用していない」が80.6%で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」6.0%、「一時預かり」1.5%の順となっています。前回調査では、「利用していない」が84.8%、「幼稚園の預かり保育」11.4%、「一時預かり」2.5%でした。



問23で「7. 利用していない」と回答した方におうかがいします。

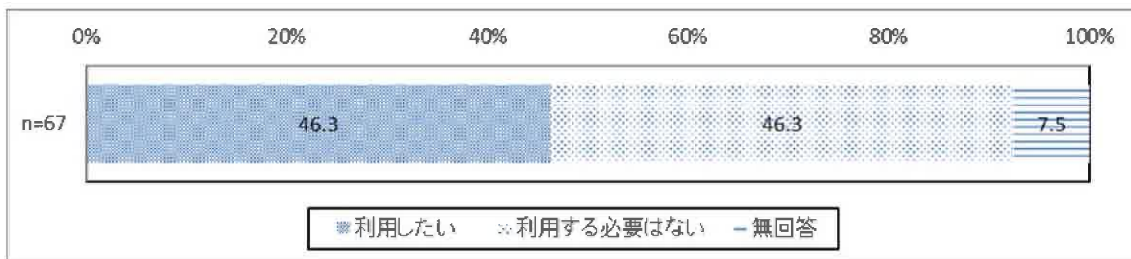
問23-1 現在利用していない理由は何ですか。(複数回答)

「特に利用する必要がない」が63.0%で最も多く、次いで「利用したい事業が地域にない」29.6%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」27.8%の順となっています。前回調査では、「特に利用する必要がない」が77.6%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」14.9%、「利用したい事業が地域にない」「事業の利用方法(手続き等)がわからない」11.9%でした。



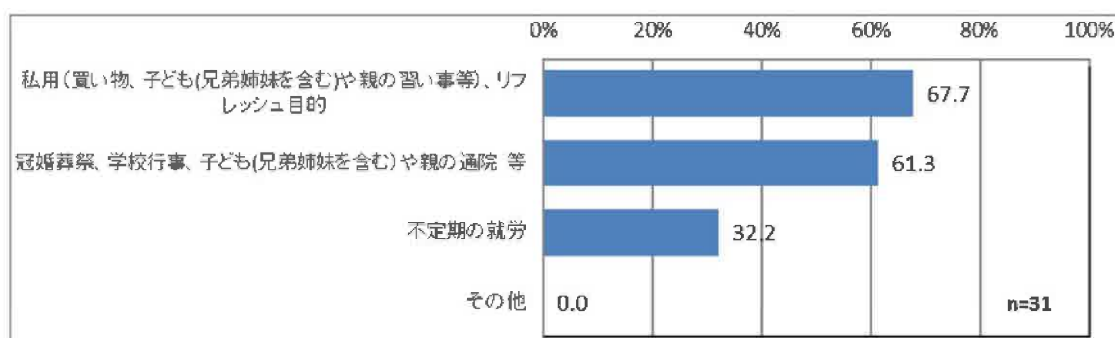
問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。

「利用したい」が46.3%、「利用する必要はない」が46.3%となっています。前回調査では、「利用したい」が48.1%、「利用する必要はない」が49.4%でした。



利用したい理由(複数回答)

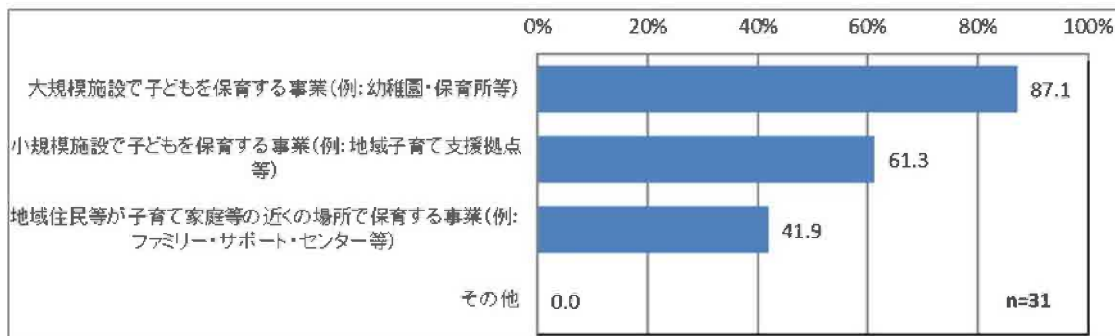
「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が67.7%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等」が61.3%、「不定期の就労」が32.2%となっています。前回調査では、「私用(買い物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」が42.4%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院 等」が37.3%、「不定期の就労」が18.6%でした。



問24で「1. 利用したい」と回答した方におうかがいします。

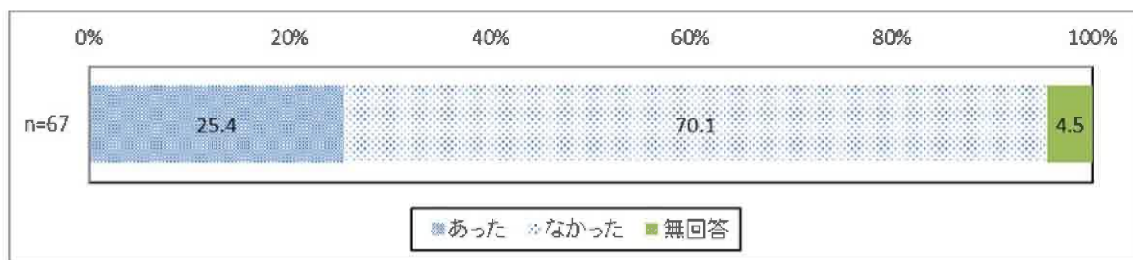
問24-1 問24の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。(複数回答)

「大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)」が87.1%で最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点等)」61.3%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」41.9%の順となっています。前回調査では、「大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所等)」が84.2%、「小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点等)」31.6%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センター等)」28.9%の順でした。



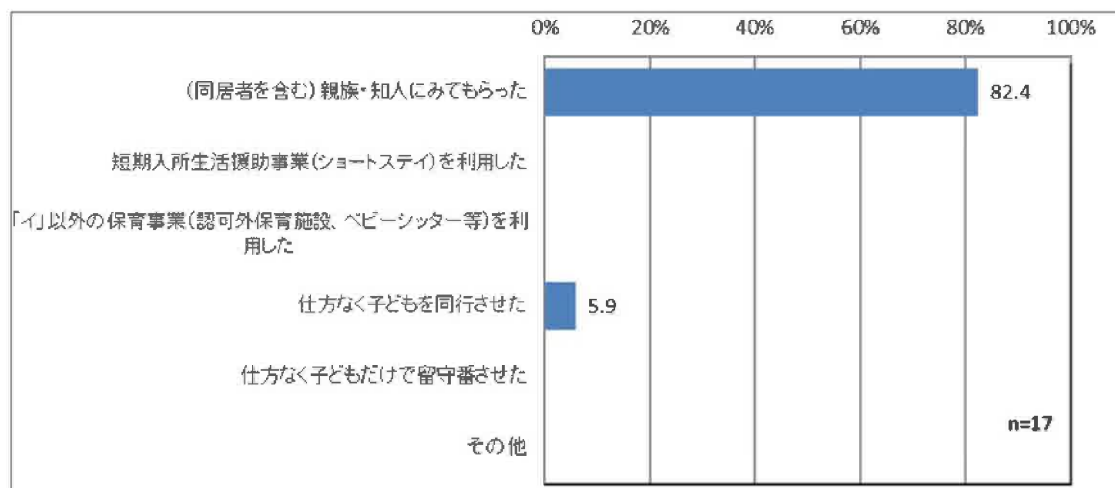
問25 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含みます。)

「あった」が25.4%、「なかった」が70.1%となっています。前回調査では、「あった」が35.4%、「なかった」が64.6%でした。



あった場合の1年間の対処方法(複数回答)

「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が82.4%、「仕方なく子どもを同行させた」が5.9%となっています。前回調査では、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が89.3%、「仕方なく子どもを同行させた」が14.3%でした。

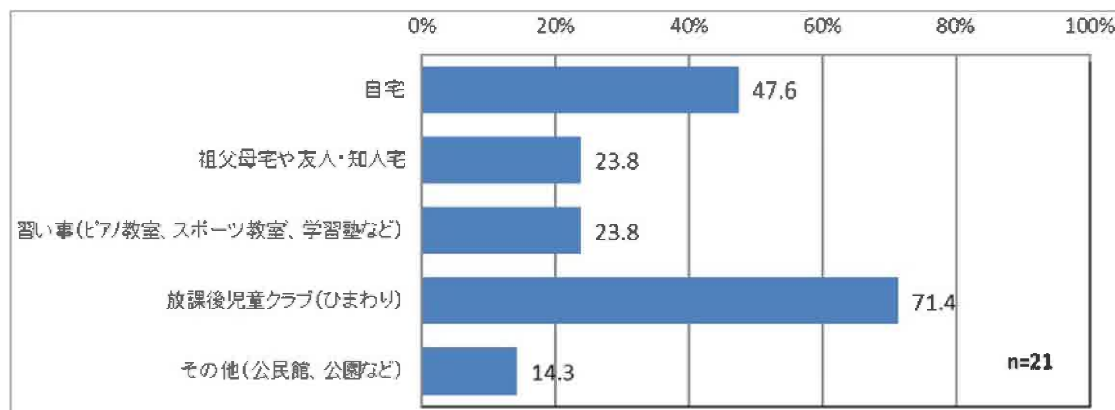


小学校就学後の放課後の過ごし方について

宛名のお子さんが5歳以上である方に伺います。

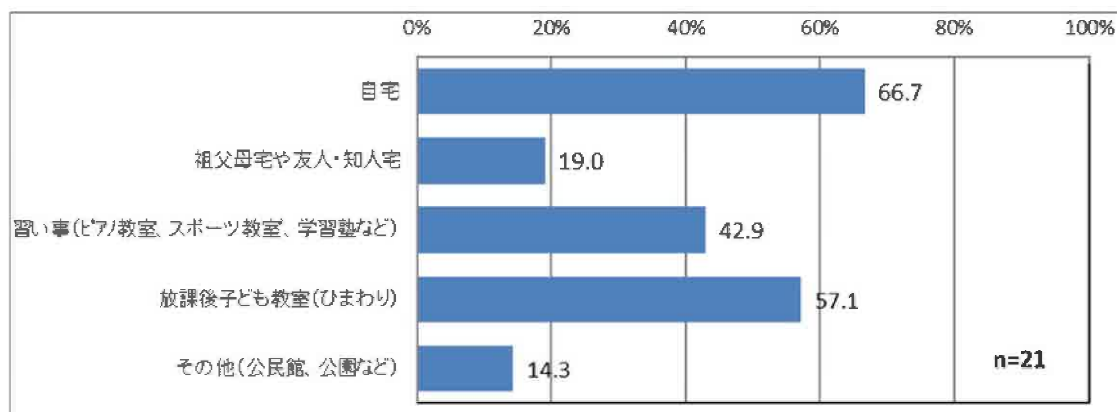
問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(複数回答)

「放課後児童クラブ(ひまわり)」が71.4%、「自宅」が47.6%、「祖父母や友人・知人宅」「習い事(ピアノ教室、スポーツ教室、学習塾など)」が23.8%の順となっています。前回調査では、「放課後児童クラブ(ひまわり)」が29.1%、「自宅」が21.5%、「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が16.5%でした。



問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。だいたいの話になりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。(複数回答)

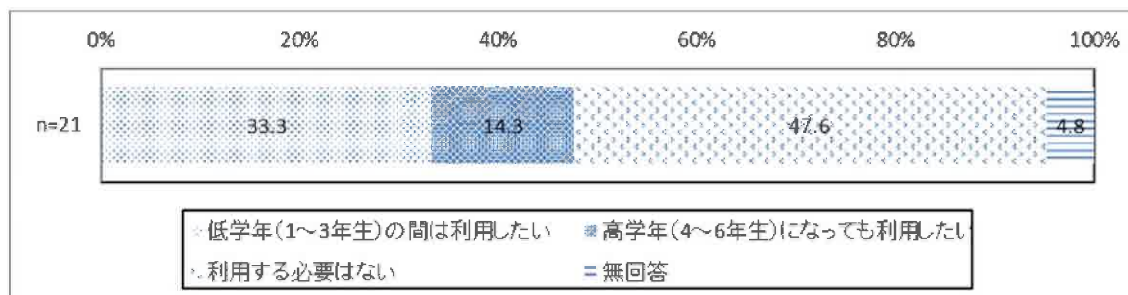
「自宅」が66.7%で最も多く、次いで「放課後子ども教室」57.1%、「習い事(ピアノ教室、スポーツ教室、学習塾など)」42.9%の順となっています。前回調査では、「放課後子ども教室」が29.1%、「自宅」27.8%、「習い事(ピアノ教室、スポーツ教室、学習塾など)」24.1%の順でした。



問28 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブ・放課後子ども教室の利用希望はありますか。

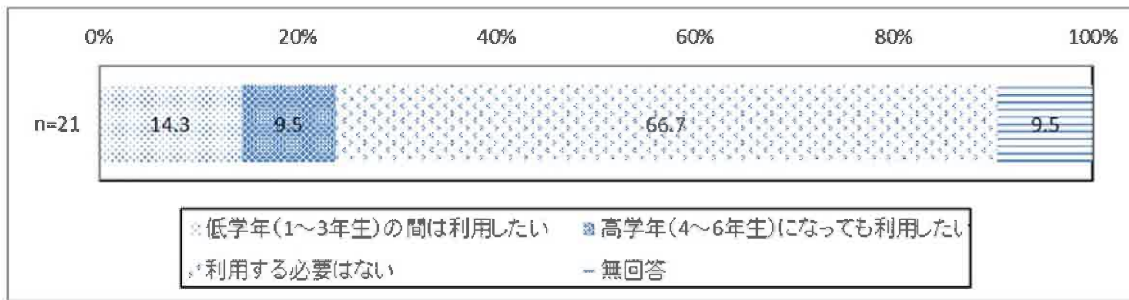
問28-1 土曜日

「利用する必要はない」が47.6%で最も多く、次いで「低学年(1～3年生)の間は利用したい」33.3%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」14.3%の順となっています。前回調査では、「利用する必要はない」が56.3%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」28.1%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」12.5%の順でした。



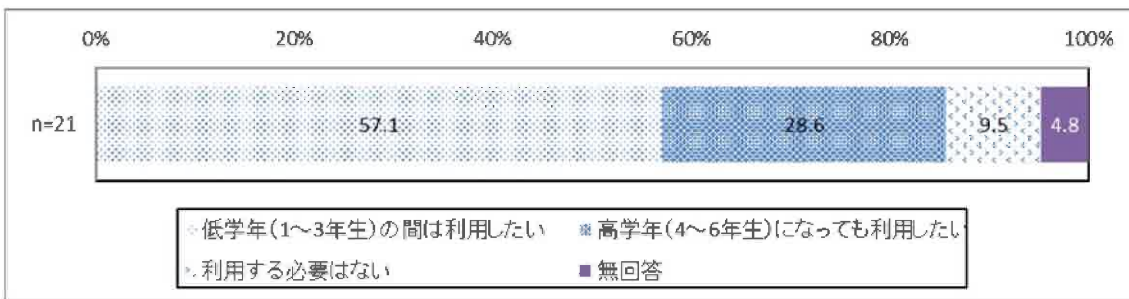
問28-2 日曜・祝日

「利用する必要はない」が66.7%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が14.3%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が9.5%となっています。前回調査では、「利用する必要はない」が78.1%、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が12.5%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が3.1%でした。



問29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ・放課後子ども教室の利用希望はありますか。

「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が57.1%で最も多く、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」28.6%、「利用する必要はない」9.5%の順となっています。前回調査では、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が40.6%、「利用する必要はない」37.5%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」21.9%の順でした。

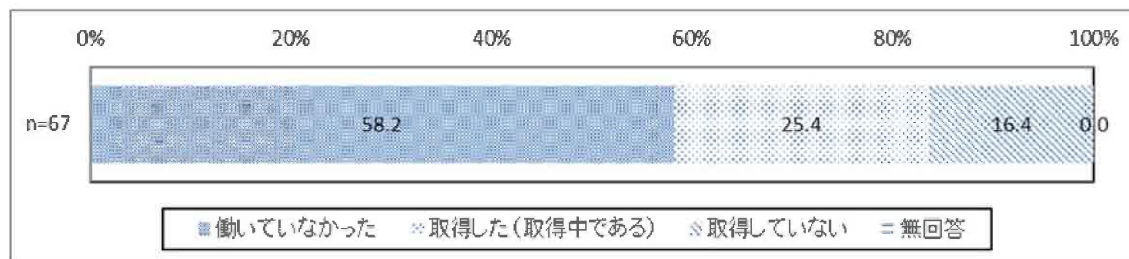


育児休業や短時間勤務制度などの職場の両立支援制度について

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。

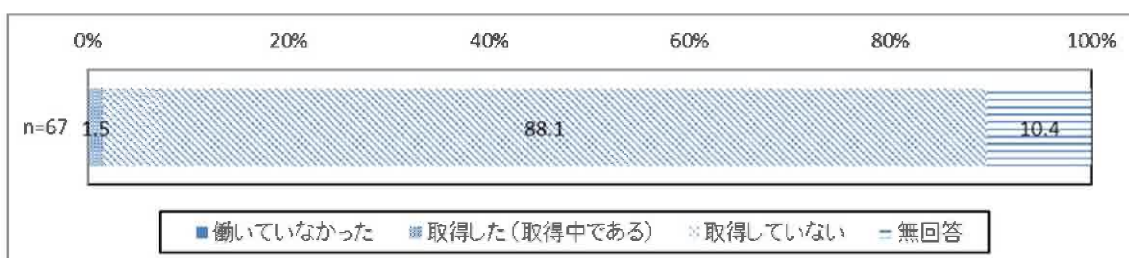
(1) 母親

「働いていなかった」が58.2%で最も多く、次いで「取得した(取得中である)」が25.4%、「取得していない」16.4%の順となっています。前回調査では、「働いていなかった」が69.6%、「取得した(取得中である)」取得していない」13.9%の順でした。



(2) 父親

「取得していない」が88.1%、「取得した(取得中である)」が1.5%となっています。前回調査では、「取得していない」が87.3%、「取得した(取得中である)」が2.6%でした。

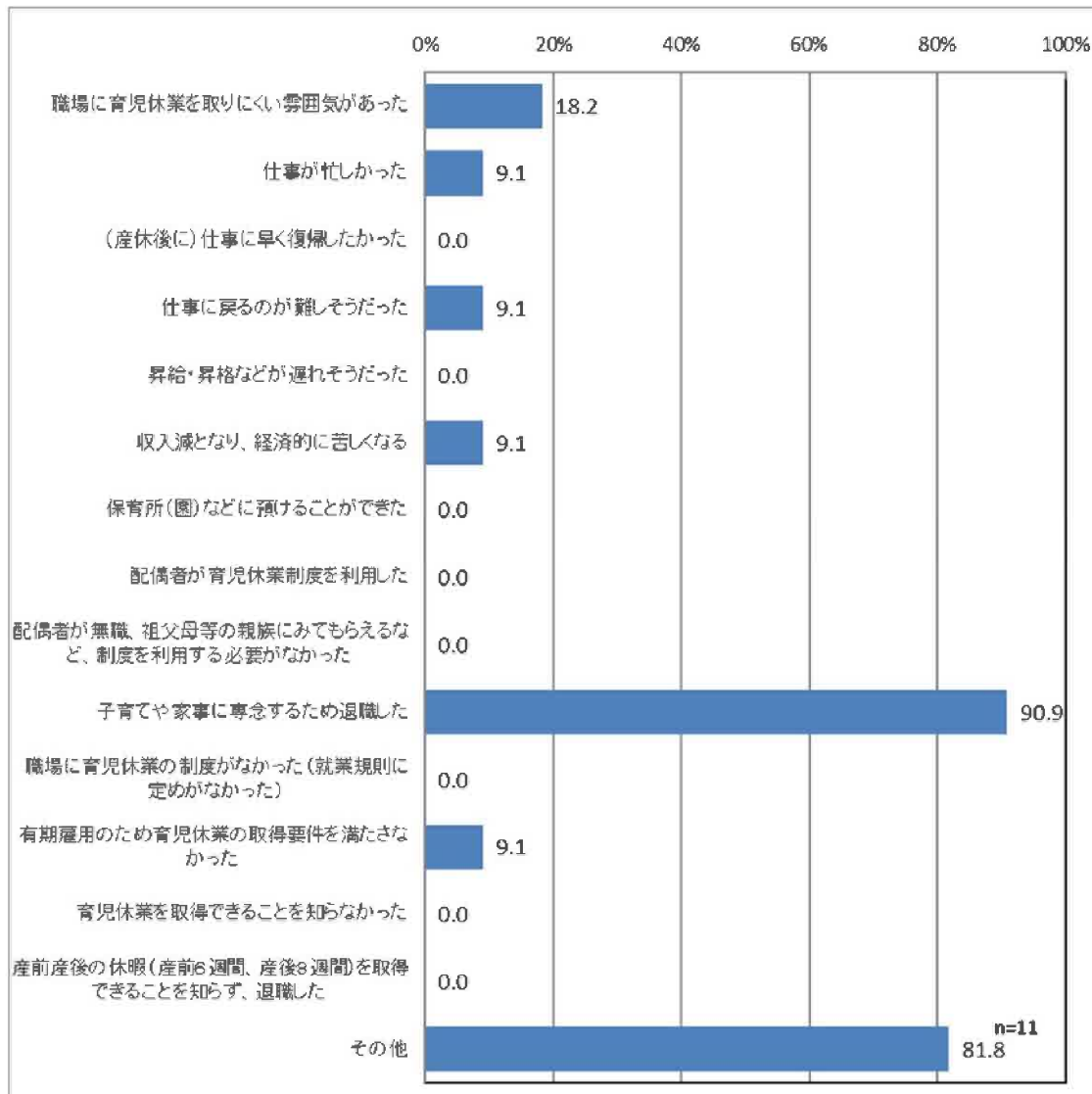


問30で母親、父親どちらかで「3. 取得していない」と回答した方におうかがいします。

問30-1 取得していない理由は何ですか。（「母親」「父親」欄の該当する項目、複数回答）

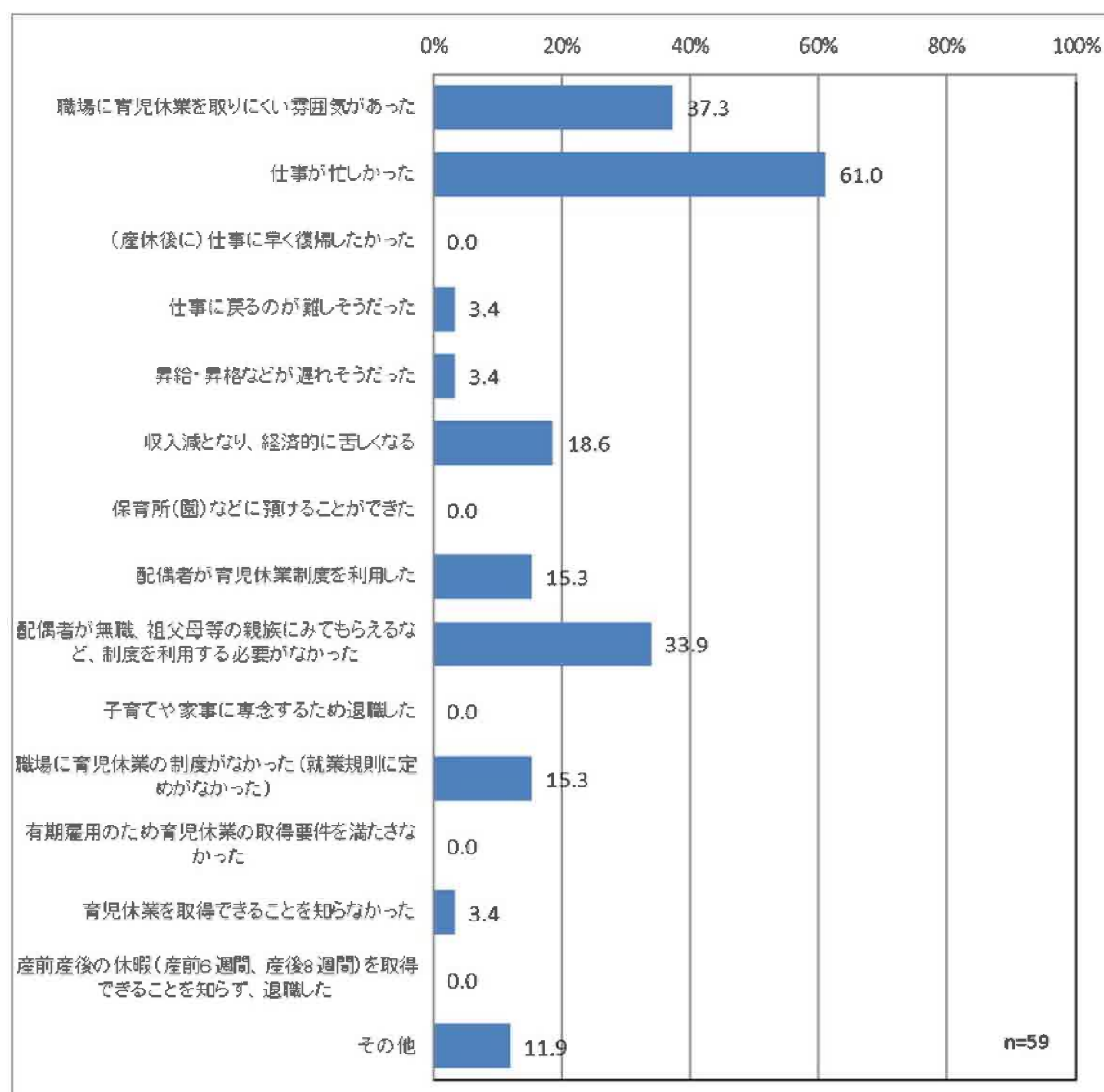
(1) 母親

「子育てや家事に専念するため退職した」が90.9%で最も多く、次いで「その他」が81.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が18.2%となっています。「その他」の理由では、「不妊治療のため辞めざるを得なかった」「パートだったので辞めざるを得なかった」「早産のため早期退職した」などとなっています。前回調査では、「子育てや家事に専念するため退職した」が63.6%で最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」18.2%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」「(産休後に)仕事に早く復帰したかった」「収入源となり、経済的に苦しくなる」「有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった」9.1%の順となっています。



(2) 父親

「仕事が忙しかった」が61.0%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」37.3%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」33.9%の順となっています。前回調査では、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が49.3%、「仕事が忙しかった」33.3%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」14.5%の順でした。

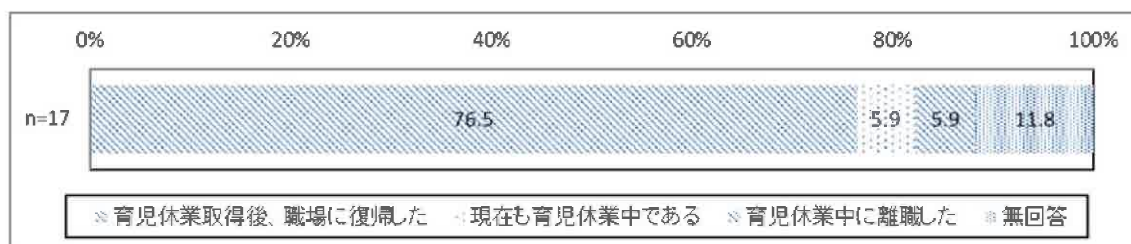


問30で「2. 取得した(取得中である)」と回答した方におうかがいします。

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

(1) 母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が76.5%、「現在も育児休業中である」「育児休業中に離職した」が5.9%となっています。前回調査では、「育児休業取得後、職場に復帰した」が72.7%、「育児休業中に離職した」が18.2%、「現在も育児休業中である」9.1%でした。



(2)父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」が100.0%となっています。前回調査でも、「育児休業取得後、職場に復帰した」が100.0%でした。

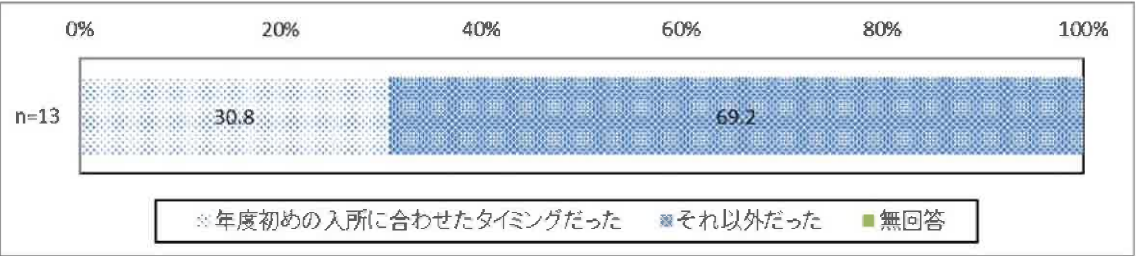


問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におうかがいします。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

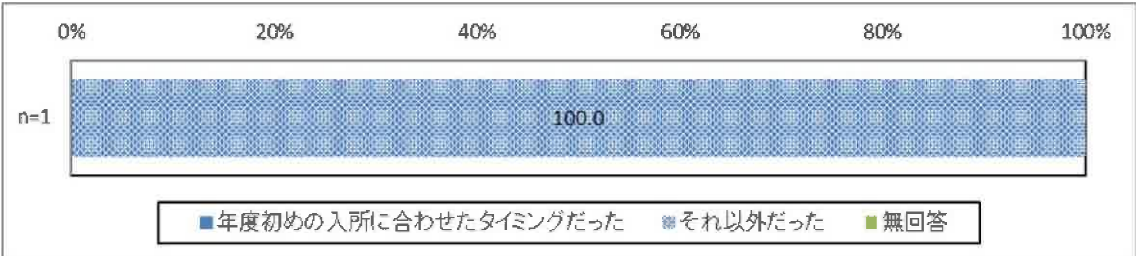
(1)母親

「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が30.8%、「それ以外だった」が69.2%となっています。前回調査では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が37.5%、「それ以外だった」が62.5%でした。



(2)父親

「それ以外だった」が100%となっています。前回調査では、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が100.0%でした。

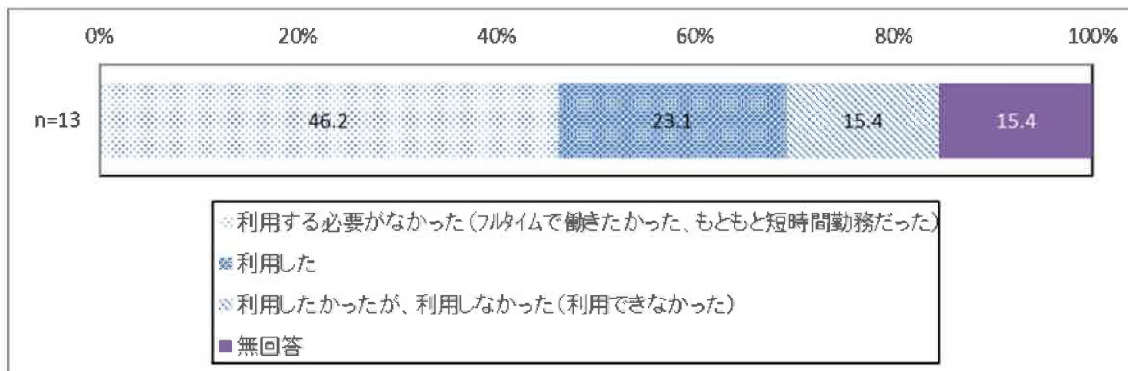


問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方におうかがいします。

問30-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。

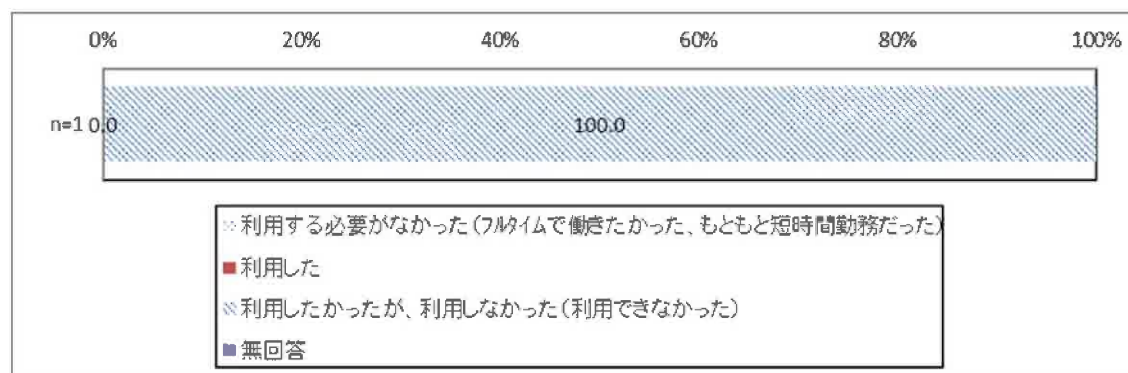
(1) 母親

「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」が46.2%、「利用した」が23.1%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が15.4%となっております。前回調査では、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった)」「利用した」が37.5%、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」25.0%でした。



(2) 父親

「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が100.0%でした。前回調査では、「利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」が100.0%でした。

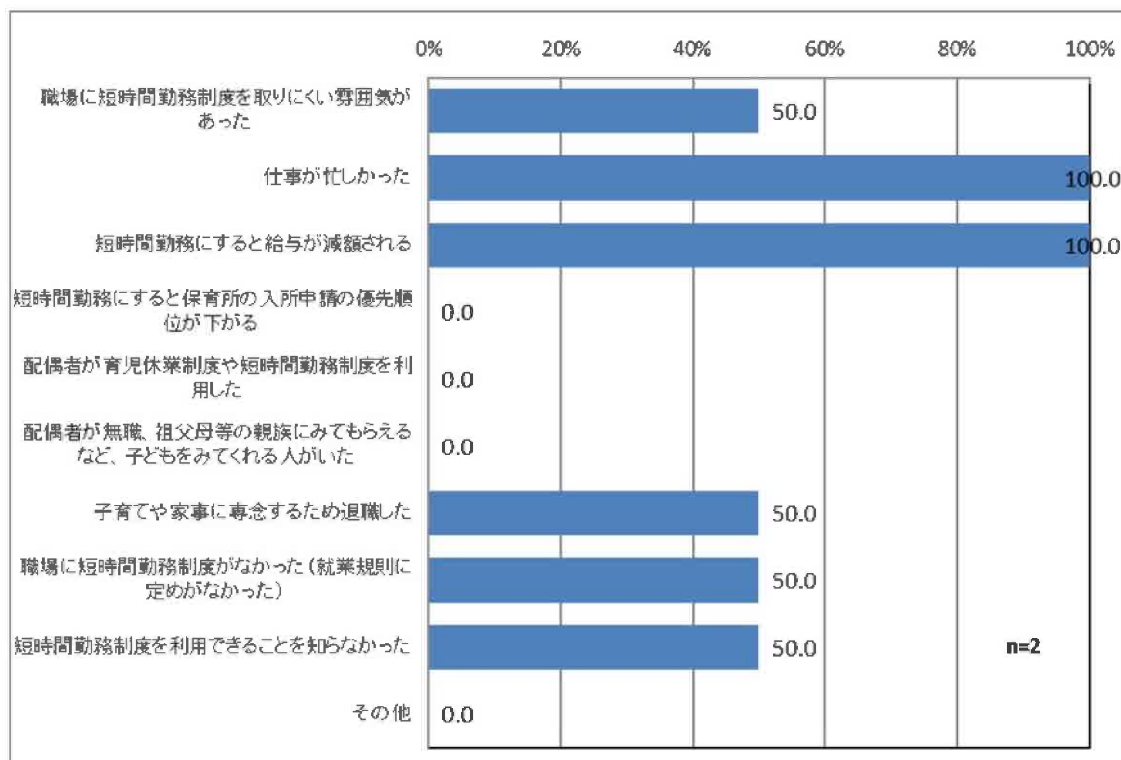


問30-4で「3. 利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方におうかがいします

問30-5 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(複数回答)

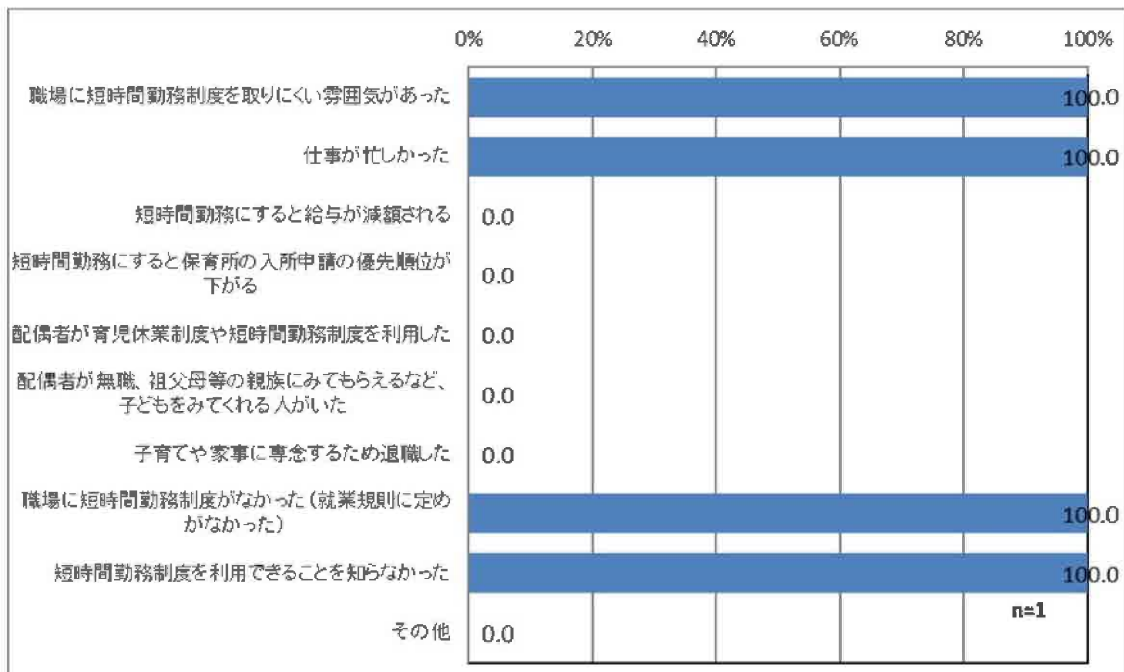
(1)母親

サンプル数が2人のため表のような結果になっています。



(2)父親

サンプル数が1人のため表のような結果となっています。

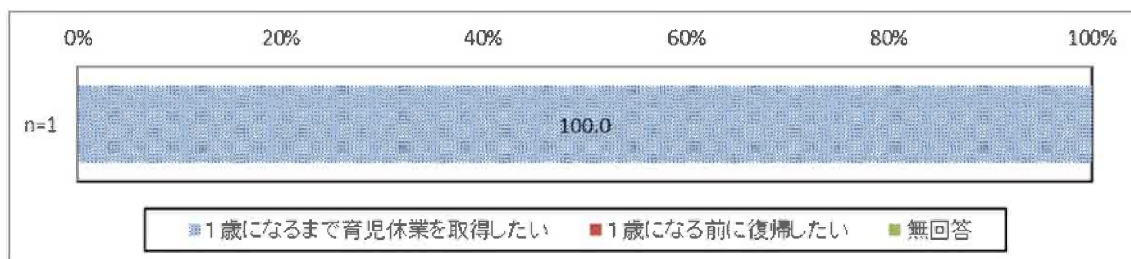


問30-2で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方におうかがいします。

問30-6 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。

(1)母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」が100.0%となっています。前回調査でも、「1歳になるまで育児休業を取得したい」が100.0%でした。



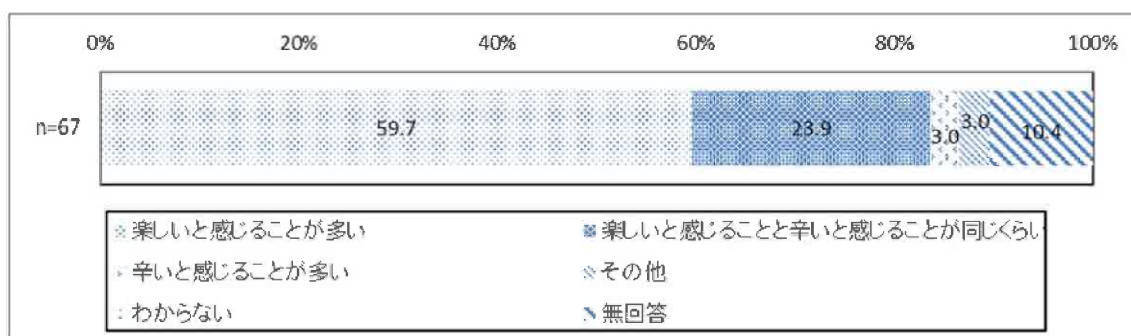
(2)父親

回答がありません。

子育てに関する不安や悩みについて

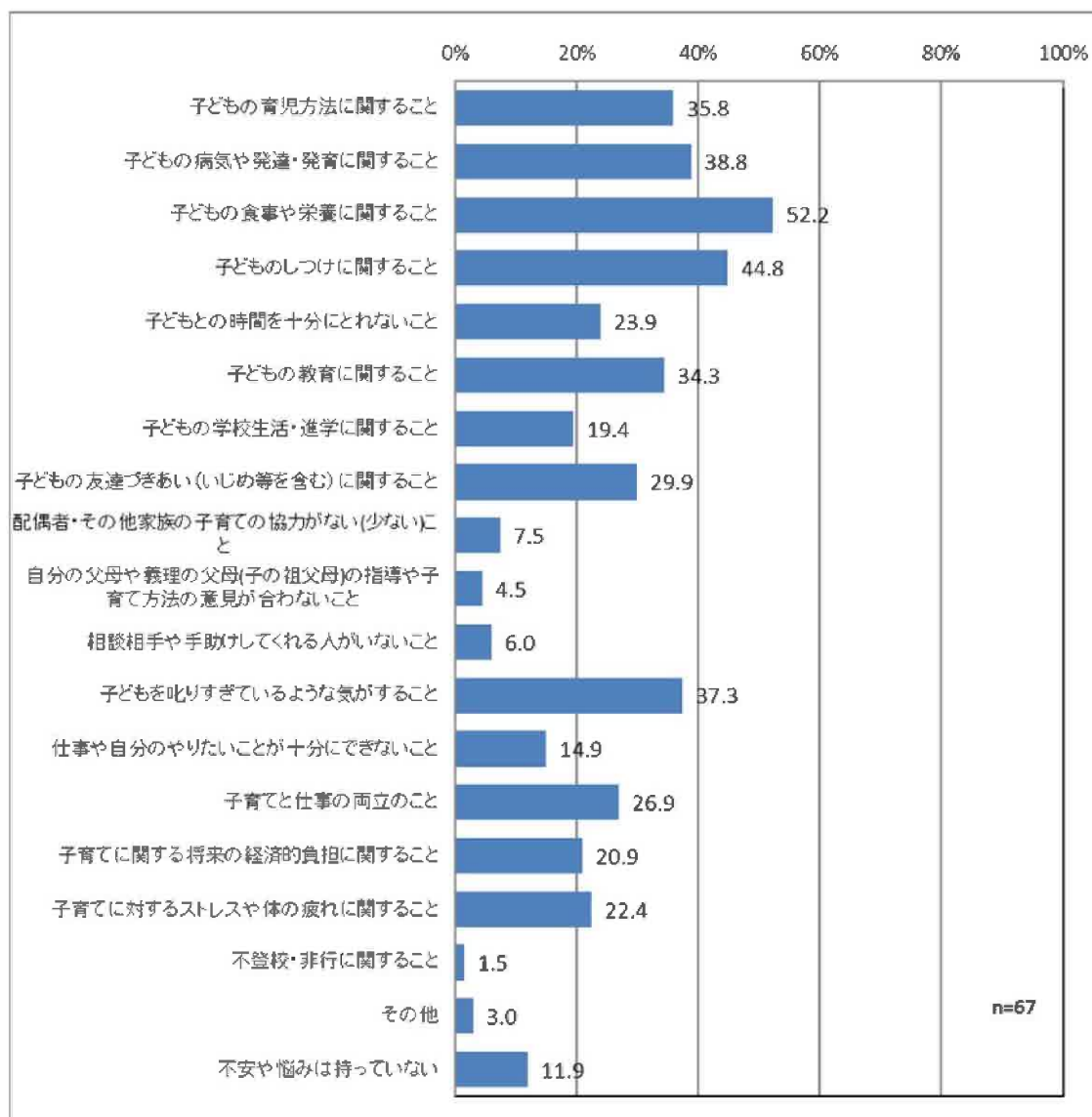
問31 あなたは自分にとって子育てが楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと思うことが多いと思いますか。

「楽しいと感じることが多い」が59.7%で最も多く、次いで「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」23.9%となっています。前回調査では、「楽しいと感じることが多い」が64.6%、「楽しいと感じることと辛いと感じることが同じくらい」27.8%でした。



問32 あなたは、子育てをする上でどのような不安や悩みを持っていますか。(複数回答)

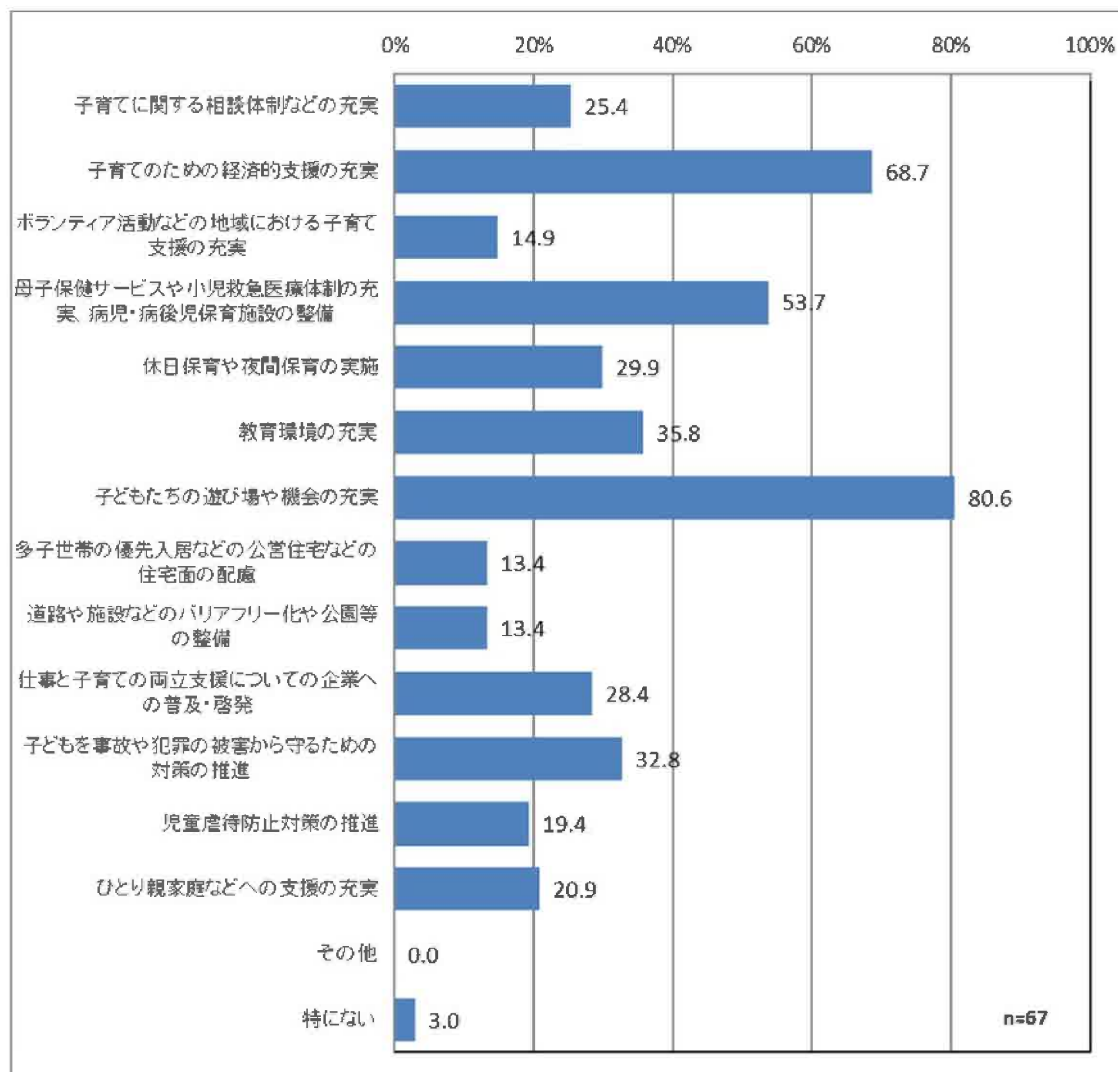
「こどもの食事や栄養に関すること」が52.2%、「子どものしつけに関すること」が44.8%、「子どもの病気や発達・発育に関すること」が38.8%、「子どもを叱りすぎているような気がする」37.3%の順となっています。前回調査では、「子どものしつけに関すること」が43.0%、「子どもの食事や栄養に関すること」34.2%、「子どもの育児方法に関すること」32.9%でした。



子育て支援策について

問34 あなたが必要だと思う子育て支援策は何ですか。(複数回答)

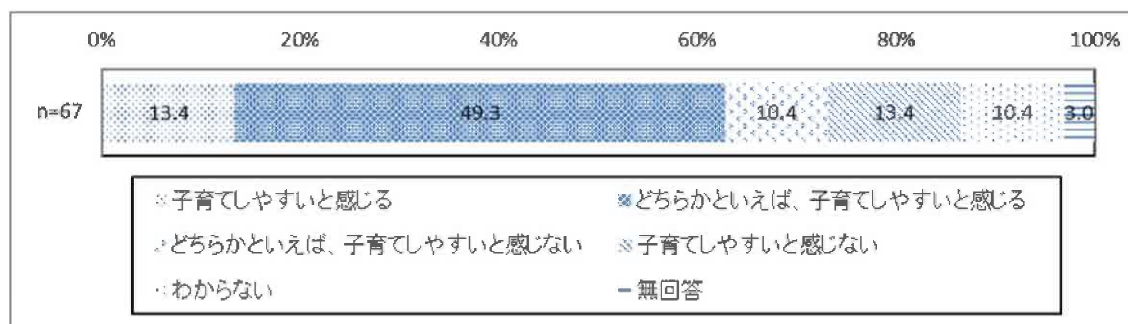
「子どもたちの遊び場や機会の充実」が80.6%で最も多く、次いで「子育てのための経済的支援の充実」が68.7%、「母子保健サービスや小児救急医療体制の充実、病児・病後児保育施設の整備」が53.7%の順となっています。前回調査では、「子どもたちの遊び場や機会の充実」が83.5%、「子育てのための経済的支援の充実」51.9%、「母子保健サービスや小児救急医療体制の充実」43.0%の順でした。



子育てのしやすさや満足度などについて

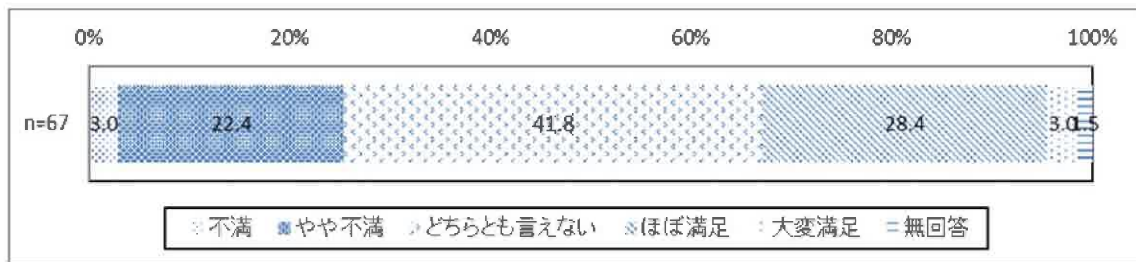
問35 あなたは、様似町は子育てがしやすいまちだと感じますか。

「どちらかといえば、子育てしやすいと感じる」が49.3%で最も多く、「子育てしやすいと感じる」13.4%、「どちらかといえば、子育てしやすいと感じない」13.4%、「どちらかといえば、子育てしやすいと感じない」10.4%の順となっています。前回調査では、「どちらかといえば、子育てしやすいと感じる」が54.4%、「子育てしやすいと感じる」12.7%、「どちらかといえば、子育てしやすいと感じない」11.4%、「子育てしやすいと感じない」10.1%の順でした。



問36 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度についてお聞きます。

「どちらとも言えない」が41.8%、「ほぼ満足」が28.4%の順となっています。前回調査では、「ほぼ満足」が34.2%、「どちらとも言えない」が31.6%、「やや不満」19.0%の順でした。



自由記載内訳

【問 10】子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあれば良いとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

- ・気軽に子どもを預ける所があれば助かります。（2～3時間程度でも OK）
- ・地域の人との交流。金銭支援。
- ・子どもがいる世帯への金銭的サポート
- ・短時間預かってもらえる。親が教えられないことを教えてくれる。
- ・ファミリーサポートの充実（あるとは聞いたことはありますが、実態がよくわからない）
- ・子どもが体調を崩して休んだ時の収入のサポートがあればうれしいです。
- ・①産後ケア施設（ホテル）の助成金 ②新生児一時預かり（数時間でも）など体を休めることが出来れば心も休まってよいと思った。
- ・病児保育制度
- ・病児保育制度があればもっと働きやすくなると思う。シフト制不規則勤務の場所だと半日でも見てももらえる場所があると助かる。お正月休みも一般会社と同じく保育始めがあると助かる。
- ・気軽に相談や急用でも預けられるようなもの
- ・気軽に参加できるイベントや児童センター、おむつ券
- ・当日の連絡でも一時保育などの受入が出来たら助かる。
- ・定期的に声をかけてもらえるとうれしい。
- ・今になって様々なサポートが受けられることが理解できるが、生後1～2年の間は伝わってこない。（理解できない）様似町に住む（成長に不安を持つ）他の人はどのようなサポートを受けているのか、具体的な紹介があっても良いと思う。
- ・子どもが遊べるような室内遊具施設や公園が出来れば、子や親同士の交流が増え子どものことを話せる環境ができると思う。
- ・ベビーシッターのようなサービス。食事の提供があるとよい。
- ・急な預かりに対応してくれるような施設。
- ・親が病気や幼児があるときに気軽に預けられる施設があると助かる（事前予約なしで）

【問 21-1】土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について。たまに利用したい理由はなんですか。（その他記載欄）

- ・子どもが幼稚園に行きたがるため（長期休みは暇なようで）

【問 23-1】 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について、利用していない理由（その他記載欄）

・祖母がみてくれるため

【問 31】 あなたは自分にとって子育てが楽しいと感じることが多いと思いますか。それともつらいと思うことが多いと思いますか。（その他記載欄）

・子どもは可愛いが楽しいかと言われるとよくわからない。自分がつかれている時は、家事と育児が少し辛い時もある。

【問 32】 あなたは、子育てをする上でどのような不安や悩みを持っていますか。（その他記載欄）

・一人になる時間がない

【問 33】 あなたは、様似町内で「虐待」と思われることを見聞きしたことがありますか。

項目	回答数	割合
実際に見聞きしたことがある	4 件	6.0%
近所・知人から聞いたことがある	3 件	4.5%
ない	60 件	89.6%

【問 33-1】 虐待はどのような内容ですか。

項目	回答数	割合
たたく、けるなど暴力をふるった	1 件	14.3%
汚れた服を着ている、食事を与えられていない、放置している	0 件	0.0%
厳しく叱責をしたり、泣かせたりしている	5 件	71.4%
学校へ行かせない、家から出さないなど行動を制限している	1 件	14.3%
その他	3 件	42.9%

【問 33-1】 虐待はどのような内容ですか。（その他記載欄）

・夜中に外に出されていた。
・買い物の際、車の中に長時間放置されていた。

【問 37】 様似町へ転入された方にお伺いします。様似町へ転入した際に、子育てに関して戸惑ったり、困ったりした経験はありますか。また、こんなサービスがあれば良いと感じたものがありましたか。

【問 38】 最後に、教育・保育環境の充実など子育てに関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

- ・ 平日に身近で利用できる公園があればうれしいです。
- ・ 祖父母が様似町にいない家庭にとっては、利用できるサービスや場所がなく不便に感じた。また、町へ子どもの関係で相談した際(年度で変わる)町職員に同じ相談をしてもその後の対応(全く動いてくれない、条例改正までしてくれる)に差がありすぎるのを何とかすべきだと思う。
- ・ 子どもが遊ぶところが少ない。幼児が遊べる場所が幼児センター園庭と親子岩の滑り台くらい。小学校とアポイは遊具が大きい子向けで遊ばせられない。小さい子向けの公園をもっと作ってほしい。
- ・ 子育て世帯にもっと寄り添った町になればいいなと思います。
- ・ 子供を遊ばせたいが遊ばせられる公園が少ないと感じた。(平日幼稚園があるときは幼稚園も利用できなかったため)
- ・ 子育て世代の転入者向けの冊子があるとよいと思います。(相談先や公園情報等)
- ・ 発達障害の診断を受けてから初めて知る制度があり、診断を受ける前の一番悩んでいた時期に知りたかったなと思います。(保健センターで発達検査をしていること等)頼れる親族や知人が誰もいない中、自分が体調不良になった時がとにかく困ります。
- ・ 子どもの遊び場を増やしてほしい(室内でも遊べるようなところ)
- ・ 子どもの遊び場が少ない。海水浴場やアポイの遊具は小さい子供には危ない。雨の日でも遊べるキッズスペースを公民館に作ってほしい。浦河町の M10 や中札内の道の駅のキッズスペースを参考にしてみてください。外の遊具より管理が楽だと思います。
- ・ 長男の習い事の間下の子(3 か月)を見てもらえたら助かるなと思った。通院したい時など長男(幼稚園)はいいが下の子は預けられないので、なかなか行けない。預けられるサービスがあると助かります。
- ・ 1 歳からでも遊べる公園、冬季でも遊べる施設があったらうれしいです。4～5 歳くらいの子が遊べる遊具はあるけど小さい子が遊べるところがほとんどないので。安全で親子が楽しめる施設が欲しいです。
- ・ 日曜・祝日の保育園の利用希望
- ・ 児童クラブ 7 時 30 分の開館希望
- ・ 予防接種日赤に行かなくても町内で摂取できるようにしてほしい
- ・ 子どもたちが遊べる公園、広場をもっと増やしてほしい

- ・病児保育預けられる場所希望
- ・小児科が近くにないので困る
- ・自分で調べて幼児センター園長に話を聞きに行き、入園手続きや子育てサロン、一時保育制度を丁寧に教えていただいた。転入手続きや児童手当手続き時に子育てサービスや問合せ先一覧を配布したら親切と感じます。
- ・行政が行っている支援（医療費無償、スクールランチ等）も悪くないが、もっと町外にアピールして転入を考えている層にも情報を届けた方が良い。施策を打っている割には子育てしやすい町というイメージがない。幼児センターの先生達は全員とても優しく、子どもだけでなく保護者にも親切で頭が上がりません。先生たちの負担にはなりたくないですが、もっと仕事を頑張りたい気持ちもあり悩んでいます。
- ・屋外遊具の充実（増やしたり新しくしたりして）屋内遊戯施設建設
- ・ベビーカーやベビーベッド等の短期間しか使用しない物の無料レンタルがあれば助かるなと思いました。また、チャイルドシートの購入費助成金があるとうれしいです。
- ・子どもを連れて遊びに行ける場所が少ない（公園や室内の遊び場）子どもが集まる場所が少ないので、子どもが集団生活に慣れるのが遅そう。遊び場がないので家に引きこもりがちになってしまう。もっと外で子どもの集まる場でのびのび遊ばせたい。そういう場が増えれば、子どもにとっても親にとってもすごくプラスになると思います。
- ・子どもが遊べる場所が少ないと感じた。また商業施設が少ないので子育てに必要な物などが手軽に入手できず苦労した。
- ・子育てに必要な物が町内で手に入るようにしていただけると、ずっと住み続けたいと思います。
- ・子ども達が自由に遊べる所があると助かります。休日家では出来ることが限られているので公園や施設があるとうれしいです。
- ・出産時の経済的支援(健診を含む)
- ・公園やプールなど子どもの遊べる場所の少なさ、子どもの少なさ。
- ・病院が少ない、出張医でなく固定の先生がいたら安心だなと思う。
- ・公園が少ない、0～4歳くらいの子が遊べるような遊具がない。ふれあいビーチにあるような遊具がもっと近くにほしい。
- ・月～土まで毎日やっている子育てサロンのような場所が欲しい。子育てで同じくらいの親子との交流の場が欲しい(道外から来て知人が少ないので)
- ・アポイクーポンは家計に助かっています、いつもありがとうございます。
- ・無記名だが地域や学年で個人が特定できると思うので、質問内容を見直してほしいです。
- ・保育料を満3歳からでなく、3歳から無償化にしてほしいです。

- ・自営業など関係なく下の子のお世話が大変な時期などは、上の子を保育園で見てもらえる制度があればいいなと思います。
- ・遊ぶ場所がない。(外の遊具、特に室内はどこにもない)
- ・保育園に通う前の期間、家以外どこも行けるところ遊ぶところがない。
- ・0歳から所得制限なしで保育料無料の自治体が増えてきているみたいなので様似も子育てのお金の支援がもっとあればいいなと思う。保育料は家計に大きな出費。働いているのにその分多くと取られ家計が圧迫される。
- ・教育施設(塾など)がもっと充実するとうれしい。
- ・不定期な仕事・用事のため16時～19時などの数時間の子どもの預け先の確保にひやひやした子育てをしました。ファミリーサポート事業などがあるのは知っていましたが、自分が使えるか、どんな利用方法なのか、だれが預かってくださるかなどわからない点が多くうまく使えず母親が無理を重ねる子育てになってしまいました。周りに助けを求められる子育てになっていくことを願っています。
- ・公園や遊び場所を増やしてほしい
- ・町内に小児科も見てくれる病院があるとよいと思います。週に1～2回午後から学校が終わってから診てもらえるとありがたいです。
- ・子どもを遊ばせるような施設が少ないため公園や屋内施設が増えるとよいと思う。
- ・公園等の施設が町内にあれば良いなと思います。軽度の風邪(咳、鼻水等)の場合通常保育とは別に病児保育の対応があれば良いと思います。親族が遠方だと仕事を休まざるを得なく、結局は退職をせざるを得ない状況になってしまったので。
- ・子どもが楽しく安全に遊べる場所を早急に増やしてほしい。
- ・子供の特技を伸ばせるような習い事(学べる場)を増やしてほしい。(塾だけでなく体操など)
- ・遊ぶところがなく公民館や家の前に小学生が集まってゲームをしていた。0～2歳の誕生日プレゼントに昆布やぬいぐるみではなく、ゴミ袋(おむつを捨てるため)やアポイクーポンが欲しかった。出生届を出した時にお祝いでゴミ袋をくれる市町村もある。
- ・町内に小児専門の病院・クリニックがあれば良い。
- ・他の地域との差をどうしても感じてしまう。きれいな公園が少ないとか幼稚園のプレ保育(希望する人が通わせる)がなかったり、幼稚園に年少から入園できても希望する日に預かり保育(月に1度翌月の希望をとる)が出来ない。公園を増やしてほしい。プレ保育を始めてほしい。
- ・アポイの公園について鹿の糞が足の踏み場もないほど落ちているため利用できない。観光客もその点について文句を言っていたのを何度も耳にしたことがある。本格的なアスレチック遊具があるのに、糞のせいで利用できないのはもったいなく思うし、子どもたちも不満に思っている。柵などで囲うなど対策をして侵入しないよ

うにしてほしい。町内は屋外の遊び場が非常に少ないので、新規で何らかを建設するより今ある建物を利用、整備して屋外の遊び場を増やしてほしい。